

# 平成 15 年福島県鉱工業指数の動向

## 1 鉱工業の動向

### (1) 概況

#### ア 年別推移

平成 15 年の生産指数（原指数年平均）は、95.0 で前年比 2.2%、出荷指数は 99.1 で同 5.1%、在庫指数は 124.4 で同 5.8%とそれぞれ上昇した。生産指数は 3 年ぶりに上昇し、出荷指数は 2 年連続で上昇し、在庫指数は 4 年連続で上昇した（表 1）。

また、平成 15 年の季節調整済指数の動きをみると、生産指数は、年当初は低下傾向、年央に横ばいとなり、秋口から上昇傾向となった。出荷指数は、前半は横ばい傾向、後半は上昇傾向で推移した。在庫指数は、上昇と低下を繰り返し、全体としては低下傾向で推移した（表 2）。

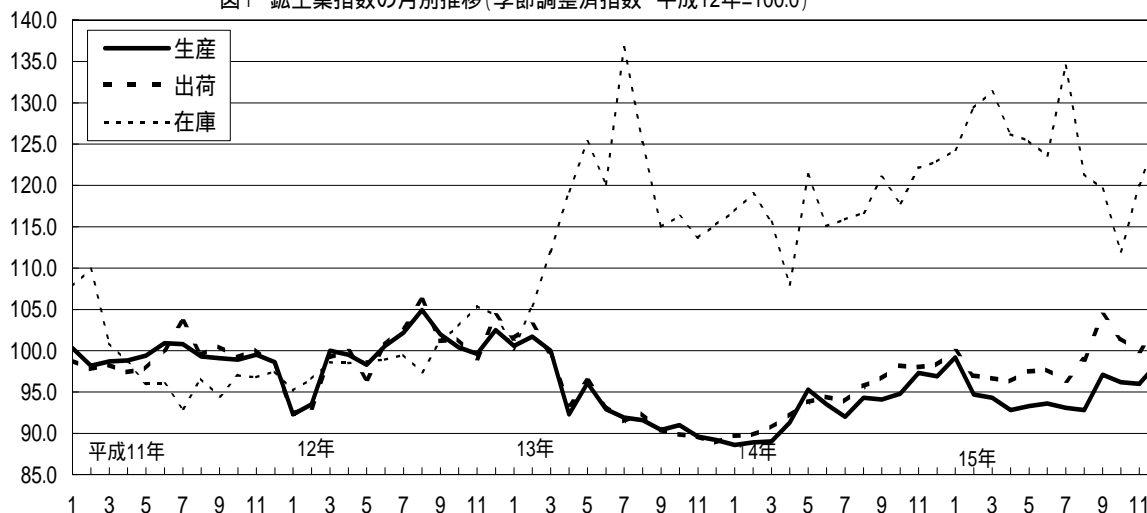
表 1 鉱工業指数の年別推移 (平成12年=100.0 原指数)

	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	99.1	1.7	99.1	1.5	98.5	10.2
平成12年	100.0	0.9	100.0	0.9	100.0	1.5
平成13年	93.9	6.1	94.0	6.0	117.2	17.2
平成14年	93.0	1.0	94.3	0.3	117.6	0.3
平成15年	95.0	2.2	99.1	5.1	124.4	5.8

表 2 鉱工業指数の月別推移 (季節調整済指数 平成12年=100.0)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成11年	生産	100.3	98.2	98.7	98.8	99.4	100.9	100.8	99.3	99.1	98.9	99.5	98.6
	出荷	98.8	97.8	98.3	97.4	97.8	100.2	103.5	99.5	100.5	99.2	100.1	98.1
	在庫	107.8	109.9	100.9	98.6	96.0	96.0	93.0	96.6	94.5	97.0	96.8	97.5
平成12年	生産	92.3	93.5	100.0	99.5	98.3	100.6	102.2	104.9	102.0	100.4	99.6	102.5
	出荷	92.4	93.1	99.2	99.9	96.6	100.7	102.9	106.1	101.2	101.4	99.1	104.2
	在庫	95.2	96.6	98.6	98.5	98.7	98.9	99.5	97.4	101.2	103.0	105.4	104.3
平成13年	生産	100.6	101.7	100.0	92.3	96.1	92.9	91.9	91.6	90.4	91.0	89.6	89.2
	出荷	101.5	103.1	99.6	93.5	96.3	93.3	91.5	92.4	90.4	89.9	89.6	88.9
	在庫	100.2	105.4	112.0	119.3	125.3	120.2	136.7	125.2	115.0	116.3	113.7	115.3
平成14年	生産	88.6	88.9	89.0	91.3	95.3	93.5	92.0	94.3	94.1	94.8	97.3	96.9
	出荷	89.7	89.8	90.7	92.1	93.8	94.4	93.9	95.7	96.6	98.2	98.0	98.3
	在庫	116.9	119.0	115.6	108.0	121.3	115.1	115.9	116.7	121.0	117.9	122.1	122.9
平成15年	生産	99.2	94.7	94.3	92.8	93.3	93.6	93.1	92.8	97.1	96.2	96.0	98.5
	出荷	99.9	97.0	96.7	96.3	97.5	97.7	96.4	98.9	104.3	101.5	100.0	103.3
	在庫	124.3	129.4	131.4	126.2	125.4	123.6	134.5	121.4	119.6	112.0	120.0	126.2

図 1 鉱工業指数の月別推移 (季節調整済指数 平成12年=100.0)



## イ 四半期別推移

平成15年の生産指数(季節調整済指数)四半期別前期比(以下順に「1期(1~3月期)」、「2期(4~6月期)」、「3期(7~9月期)」、「4期(10~12月期)」)は、1期に平成14年1期以来の4期ぶりの低下となり、2期連続低下したものの、3期、4期に上昇したため、全体ではほぼ横ばい傾向で推移した。

出荷は、1期に平成13年1期以来の5期ぶりの低下となり、2期連続低下したが低下幅は小さく、3期、4期に上昇したため、全体では上昇傾向で推移した。

在庫は、1期、2期は上昇し、3期、4期は低下となり上昇と低下が交互したが、全体では低下傾向で推移した(表3)。

また、生産指数(原指数)四半期別前年同期比は、平成14年1期から6期連続で前年同月比を上回った(表4)。

表3 四半期指数及び対前期上昇率(季節調整済指数 平成12年=100.0)

年	項目	1期	2期	3期	4期	対前期上昇率	対前期上昇率	対前期上昇率	対前期上昇率
		指数	指数	指数	指数	(%)	(%)	(%)	(%)
平成11年	生産	99.1	99.7	99.7	99.0	2.0	0.6	0.0	0.7
	出荷	98.3	98.5	101.2	99.1	0.1	0.2	2.7	2.1
	在庫	106.2	96.9	94.7	97.1	2.3	8.8	2.3	2.5
平成12年	生産	95.3	99.5	103.0	100.8	3.7	4.4	3.5	2.1
	出荷	94.9	99.1	103.4	101.6	4.2	4.4	4.3	1.7
	在庫	96.8	98.7	99.4	104.2	0.3	2.0	0.7	4.8
平成13年	生産	100.8	93.8	91.3	89.9	0.0	6.9	2.7	1.5
	出荷	101.4	94.4	91.4	89.5	0.2	6.9	3.2	2.1
	在庫	105.9	121.6	125.6	115.1	1.6	14.8	3.3	8.4
平成14年	生産	88.8	93.4	93.5	96.3	1.2	5.2	0.1	3.0
	出荷	90.1	93.4	95.4	98.2	0.7	3.7	2.1	2.9
	在庫	117.2	114.8	117.9	121.0	1.8	2.0	2.7	2.6
平成15年	生産	96.1	93.2	94.3	96.9	0.2	3.0	1.2	2.8
	出荷	97.9	97.2	99.9	101.6	0.3	0.7	2.8	1.7
	在庫	128.4	125.1	125.2	119.4	6.1	2.6	0.1	4.6

前期比(%) 図2 四半期別前期比及び四半期指数(季節調整済指数 平成12年=100.0) 四半期指数

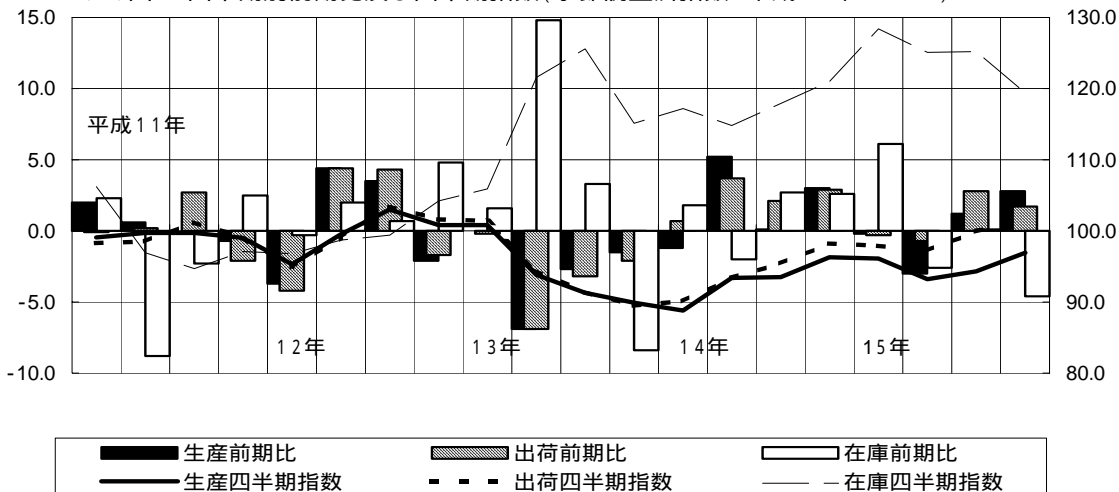
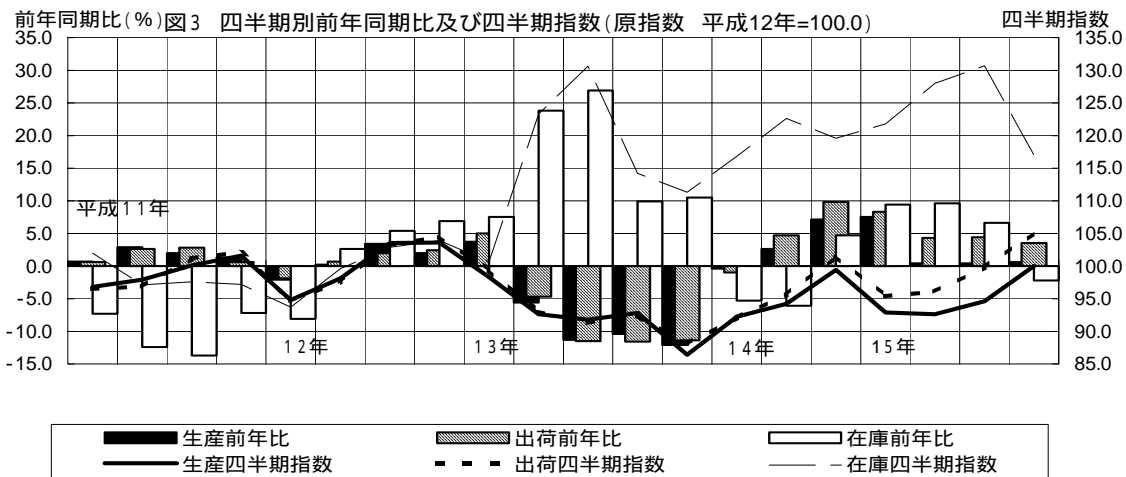


表4 四半期指数及び対前年同期上昇率(原指数 平成12年=100.0)

年	項目	1期	2期	3期	4期	対前期上昇率	対前期上昇率	対前期上昇率	対前期上昇率
		指数	指数	指数	指数	(%)	(%)	(%)	(%)
平成11年	生産	96.8	97.9	100.1	101.6	0.7	2.9	2.0	1.3
	出荷	96.5	96.9	101.2	102.1	0.6	2.6	2.8	0.6
	在庫	102.0	97.1	97.6	97.2	7.3	12.4	13.7	7.2
平成12年	生産	94.8	98.1	103.5	103.6	2.1	0.2	3.4	2.0
	出荷	94.7	97.6	103.2	104.5	1.9	0.7	2.0	2.4
	在庫	93.7	99.6	102.9	103.9	8.1	2.6	5.4	6.9
平成13年	生産	98.3	92.6	91.8	92.8	3.7	5.6	11.3	10.4
	出荷	99.4	93.0	91.3	92.4	5.0	4.7	11.5	11.6
	在庫	100.7	123.3	130.6	114.2	7.5	23.8	26.9	9.9
平成14年	生産	86.4	92.2	94.2	99.4	12.1	0.4	2.6	7.1
	出荷	88.1	92.1	95.6	101.5	11.4	1.0	4.7	9.8
	在庫	111.3	116.8	122.6	119.6	10.5	5.3	6.1	4.7
平成15年	生産	92.9	92.6	94.6	100.0	7.5	0.4	0.4	0.6
	出荷	95.4	96.1	99.8	105.1	8.3	4.3	4.4	3.5
	在庫	121.8	128.0	130.7	117.0	9.4	9.6	6.6	2.2

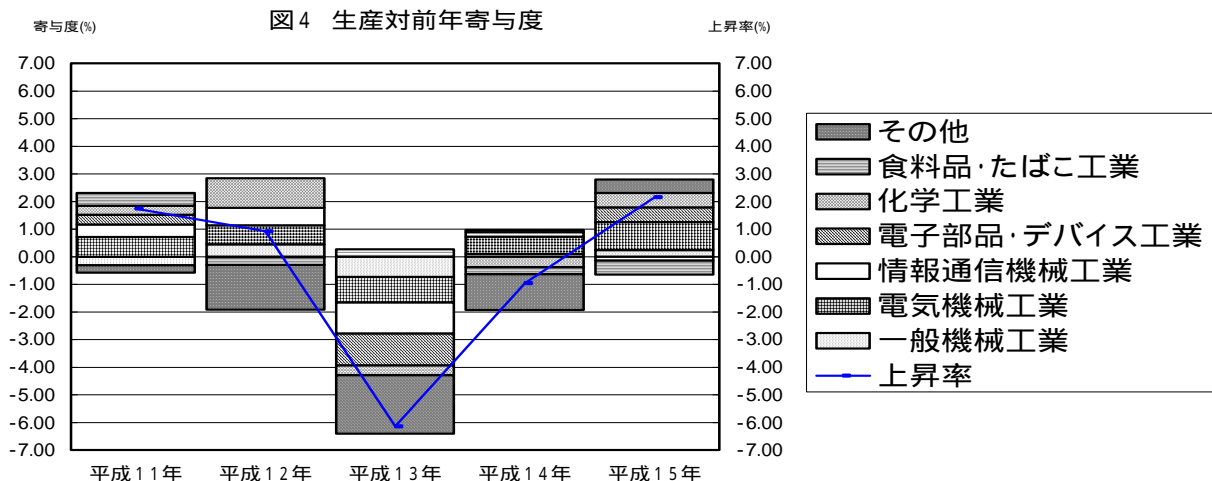


### ウ 業種別概況

生産指数(原指数年平均)では、精密機械工業が前年比 6.4%、繊維工業が同 4.5%、その他製品工業が同 4.0%、プラスチック製品工業が同 3.2%など7業種で低下したものの、鉄鋼業が前年比 27.5%、電気機械工業が同 19.1%、金属製品工業が同 10.2%、電子部品・デバイス工業が同 5.3%など12業種で上昇したため、全体として2.2%上昇した(表5)。

表5 業種別年別生産寄与度及び原指数の対前年上昇率

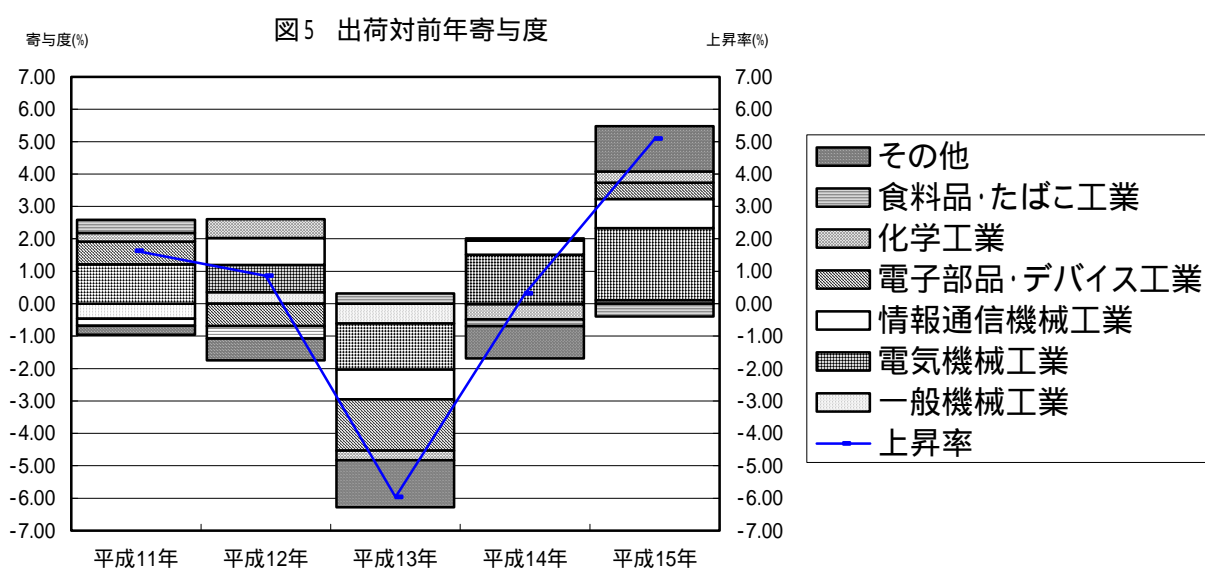
業種	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	15年上昇率
鋳工業	1.7	0.9	6.1	1.0	2.2	2.2
製造工業	1.7	0.9	6.1	1.0	2.2	2.2
鉄鋼業	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	27.5
非鉄金属工業	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	2.8
金属製品工業	0.2	0.1	0.6	1.1	0.3	10.2
一般機械工業	0.3	0.4	0.7	0.1	0.2	4.0
電気機械工業	0.7	0.7	0.9	0.6	1.0	19.1
情報通信機械工業	0.5	0.6	1.1	0.2	0.1	1.1
電子部品・デバイス工業	0.4	0.0	1.2	0.1	0.5	5.3
輸送機械工業	0.2	0.5	0.0	0.0	0.1	1.5
精密機械工業	0.2	0.7	0.1	0.4	0.2	6.4
窯業・土石製品工業	0.2	0.1	0.3	0.2	0.1	1.7
化学工業	0.3	1.1	0.4	0.4	0.5	4.0
プラスチック製品工業	0.6	0.1	0.3	0.4	0.1	3.2
パルプ・紙・紙加工品工業	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	1.6
繊維工業	0.3	0.4	0.3	0.1	0.1	4.5
食料品・たばこ工業	0.5	0.3	0.3	0.3	0.5	3.1
その他工業	0.7	1.3	0.5	0.1	0.0	0.3
ゴム、皮革製品工業	0.8	1.5	0.0	0.0	0.1	5.0
木材・木製品工業	0.1	0.1	0.3	0.1	0.0	2.2
その他製品工業	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	4.0
鋁業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.5



出荷指数では、その他製品工業が前年比 6.1%、繊維工業が同 4.5%、食料品・たばこ工業が同 2.4%と3業種で低下したものの、鉄鋼業が前年比 34.1%、電気機械工業が同 29.5%、プラスチック製品工業が同 10.5%、金属製品工業が同 10.1%など 16 業種で上昇したため、全体として 5.1%上昇した(表 6)

表6 業種別年別出荷寄与度及び原指数の対前年上昇率

業種	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	15年上昇率
鉱工業	1.6	0.9	6.0	0.3	5.1	5.1
製造工業	1.1	1.6	6.1	0.3	5.1	5.1
鉄鋼業	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3	34.1
非鉄金属工業	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	1.0
金属製品工業	0.2	0.1	0.7	1.1	0.3	10.1
一般機械工業	0.5	0.4	0.6	0.0	0.1	2.3
電気機械工業	1.2	0.8	1.4	1.5	2.2	29.5
情報通信機械工業	0.2	0.8	0.9	0.4	0.9	5.2
電子部品・デバイス工業	0.7	0.7	1.6	0.1	0.5	4.5
輸送機械工業	0.2	0.6	0.0	0.1	0.1	1.7
精密機械工業	0.4	0.6	0.0	0.2	0.1	5.1
窯業・土石製品工業	0.2	0.1	0.4	0.1	0.2	4.0
化学工業	0.3	0.6	0.3	0.5	0.3	4.0
プラスチック製品工業	0.5	0.1	0.2	0.3	0.4	10.5
パルプ・紙・紙加工品工業	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	1.0
繊維工業	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	4.5
食料品・たばこ工業	0.4	0.4	0.3	0.2	0.4	2.4
その他工業	0.6	0.8	0.1	0.0	0.0	0.5
ゴム、皮革製品工業	0.6	1.0	0.6	0.0	0.1	3.8
木材・木製品工業	0.0	0.1	0.3	0.1	0.0	3.7
その他製品工業	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	6.1
鉱業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.9

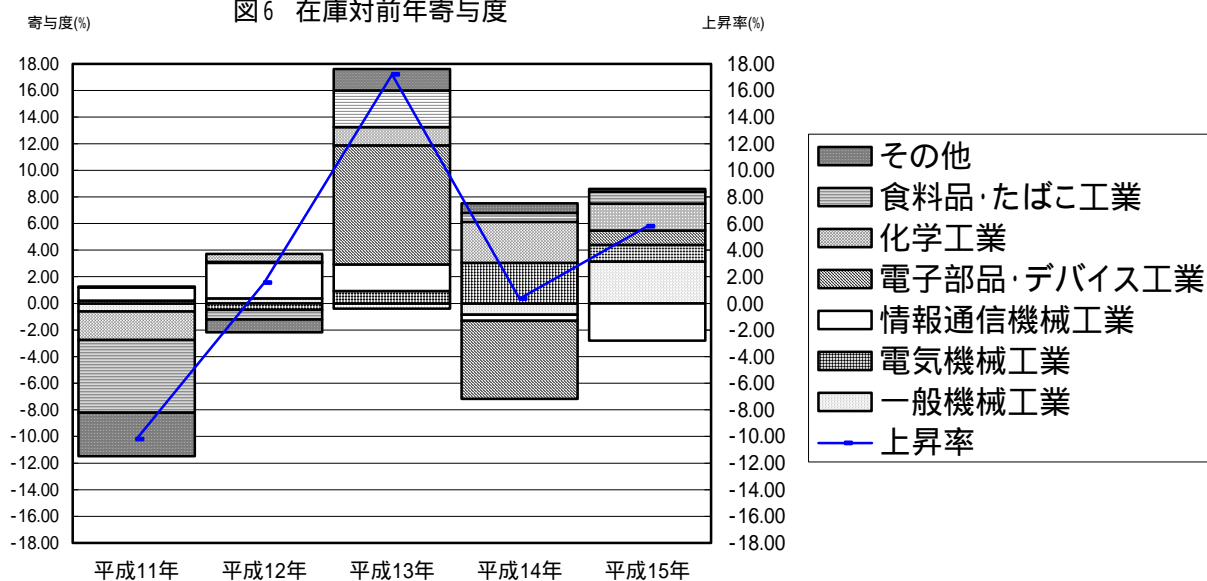


在庫指数では、精密機械工業が前年比 27.5%、金属製品工業が同 25.5%、ゴム、皮革製品工業が同 19.2%、輸送機械工業が同 18.9%など7業種で低下したものの、一般機械工業が前年比 132.0%、プラスチック製品工業が同 27.5%、電子部品・デバイス工業が同 14.8%、電気機械工業が同 14.1%など12業種で上昇したため、全体として5.8%上昇した(表7)。

表7 業種別年別在庫寄与度及び原指数の対前年上昇率

業種	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	15年上昇率
鉱工業	10.2	1.5	17.2	0.3	5.8	5.8
製造工業	9.0	2.3	17.8	0.3	5.8	5.8
鉄鋼業	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	10.0
非鉄金属工業	0.5	0.3	0.5	0.2	0.0	1.4
金属製品工業	0.3	0.4	0.2	0.9	0.5	25.5
一般機械工業	0.6	0.4	0.4	0.8	3.1	132.0
電気機械工業	0.2	0.5	0.9	3.0	1.2	14.1
情報通信機械工業	1.0	2.7	2.0	0.5	2.8	17.4
電子部品・デバイス工業	0.1	0.1	8.9	5.9	1.1	14.8
輸送機械工業	0.4	0.1	1.0	1.1	0.4	18.9
精密機械工業	0.1	0.6	0.6	0.6	0.7	27.5
窯業・土石製品工業	1.8	0.8	0.7	0.1	0.7	9.4
化学工業	2.2	0.6	1.4	3.1	2.0	10.8
プラスチック製品工業	0.4	0.9	0.5	1.0	1.2	27.5
パルプ・紙・紙加工品工業	0.1	0.1	0.2	0.0	0.2	8.1
繊維工業	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	10.6
食料品・たばこ工業	5.4	0.7	2.8	0.7	0.9	5.2
その他工業	1.2	0.7	0.6	0.7	0.5	11.0
ゴム、皮革製品工業	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	19.2
木材・木製品工業	0.3	0.5	0.5	0.6	0.0	1.7
その他製品工業	1.6	0.1	0.0	0.0	0.2	11.9
鉱業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.9

図6 在庫対前年寄与度

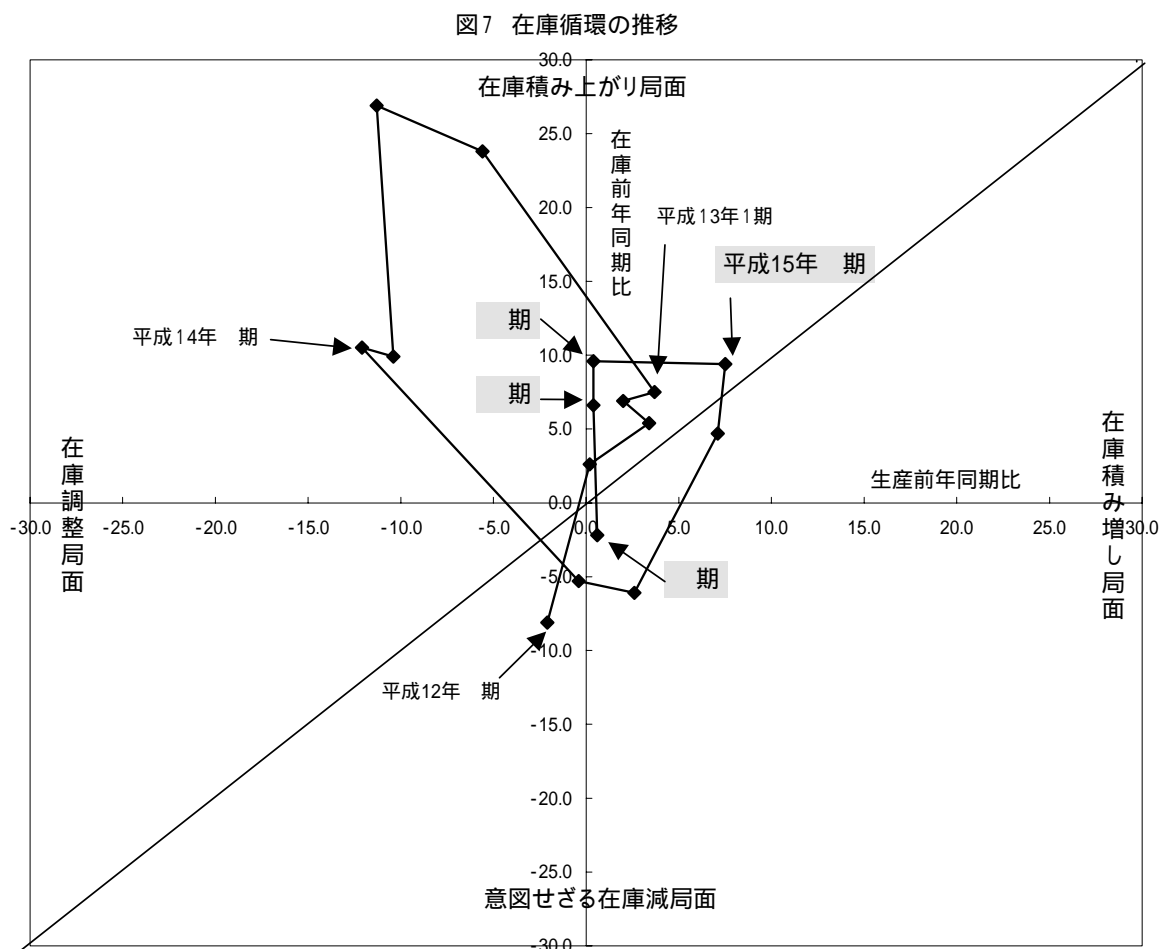


## エ 在庫循環の推移

生産と在庫の関係を見ると、生産は前年同期比で平成15年 期の上昇幅を最大とし、期、期、期と上昇幅は減少したものの、平成14年 期から6期連続で前年同期を上回った。

一方、在庫は前年同期比で平成14年 期から4期連続で前年同期を上回ったものの、平成15年 期は前年同期を下回った。

このため、平成15年は生産が上昇傾向にあって、在庫が 期に減少したことから「在庫積み増し局面」・「在庫積み上がり局面」での在庫循環の足踏みという状況を示した(図7)。



意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)	需要が回復し、出荷が増加し始めるが、生産は停滞しており、在庫は減少する。
在庫積み増し局面 (景気拡大期)	生産、出荷とも好調に推移し、減少していた在庫も積み増される。
在庫積み上がり局面 (景気後退初期)	生産に比べ、出荷が減少し始め、在庫が積み増される。
在庫調整局面 (景気後退期)	生産を調整することによって、在庫が減少する。

(2) 業種別の動向

ア 鉄鋼業

平成15年の生産指数(原指数年平均)は、126.7で前年比27.5%、出荷指数は120.3で同34.1%、在庫指数は116.0で同10.0%それぞれ上昇した(表8)。

品目別で見ると、生産は、粗鋼、鋳鋼品、銑鉄鋳物など6品目が上昇し、可鍛鋳鉄、精密鋳造品、磨棒鋼・線類が低下した。

出荷は、鋳鋼品、粗鋼、普通鋼鋼管など7品目が上昇し、可鍛鋳鉄、精密鋳造品が低下した。

在庫は、磨棒鋼・線類、鋳鋼品、銑鉄鋳物など5品目全てが上昇した。

表8 鉄鋼業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

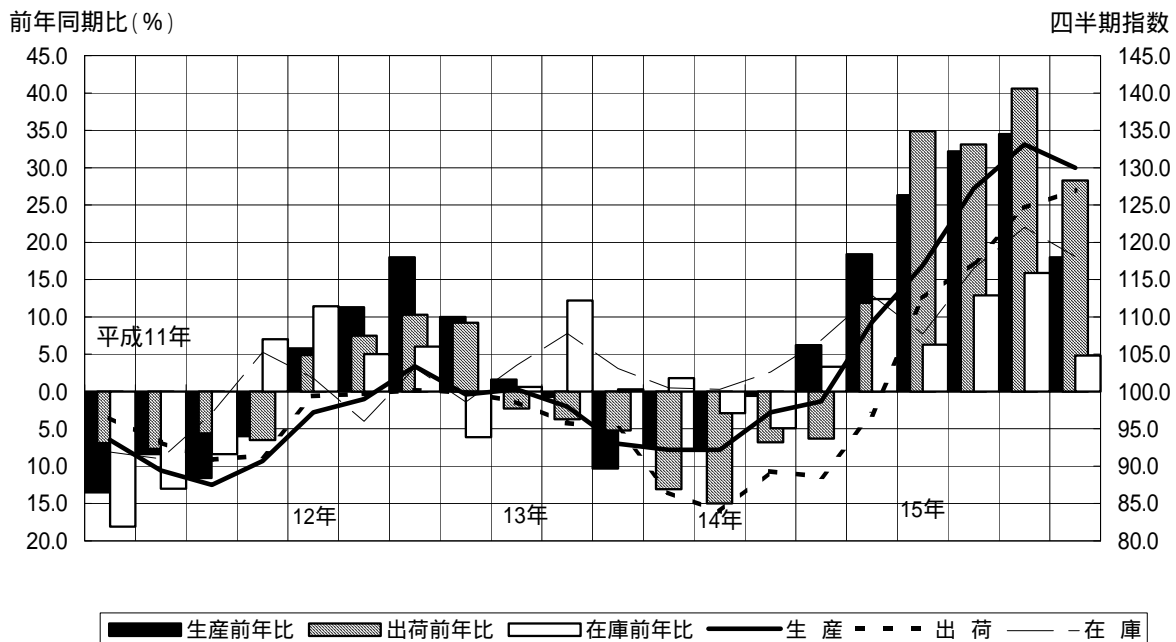
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	90.0	9.9	92.7	6.7	96.3	8.7
平成12年	100.0	11.1	100.0	8.0	100.0	3.8
平成13年	95.8	4.2	93.9	6.1	103.7	3.7
平成14年	99.4	3.8	89.7	4.5	105.5	1.7
平成15年	126.7	27.5	120.3	34.1	116.0	10.0

表9 鉄鋼業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	93.5	89.4	87.5	90.7	97.2	99.0	103.4	99.6	100.3	98.0	93.0	92.2	92.2	97.2	98.7	109.3	116.9	127.2	133.1	130.0
出荷	96.5	93.2	90.9	91.4	99.4	99.7	100.2	99.9	98.6	95.8	95.0	86.5	83.9	89.3	88.6	96.9	112.5	117.3	124.6	127.0
在庫	91.9	91.0	97.1	105.3	101.8	96.0	103.2	98.6	103.5	107.8	103.1	100.5	100.3	102.6	106.9	112.9	107.7	116.5	122.0	118.1
生産前年比	13.5	8.4	11.6	6.0	5.8	11.3	18.0	10.0	1.6	0.7	10.3	7.2	7.8	0.6	6.2	18.4	26.3	32.2	34.5	18.0
出荷前年比	6.9	7.7	5.6	6.5	4.9	7.5	10.3	9.2	2.3	3.7	5.2	13.1	15.0	6.8	6.3	11.9	34.9	33.1	40.6	28.3
在庫前年比	18.1	13.0	8.4	7.0	11.4	5.0	6.0	6.1	0.6	12.2	0.3	1.8	2.9	4.9	3.3	12.4	6.3	12.9	15.9	4.8

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図8 鉄鋼業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## イ 非鉄金属工業

平成15年の生産指数（原指数年平均）は、96.8で前年比2.8%、出荷指数は96.6で同1.0%、在庫指数は142.4で同1.4%それぞれ上昇した（表10）。

品目別でみると、生産は、アルミニウム鋳物、アルミニウム鍛工品、銅系鋳物など5品目が上昇し、アルミニウム系二次地金、銅ケーキ・ビレット、アルミニウム圧延製品など5品目が低下した。

出荷は、アルミニウム鋳物、アルミニウム鍛工品、銅系鋳物など7品目が上昇し、銅線、アルミニウム系二次地金、銅ケーキ・ビレットが低下した。

在庫は、電気銅、アルミニウム圧延製品、アルミニウム系二次地金が上昇し、銅線、銅ケーキ・ビレット、伸銅製品が低下した。

表10 非鉄金属工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

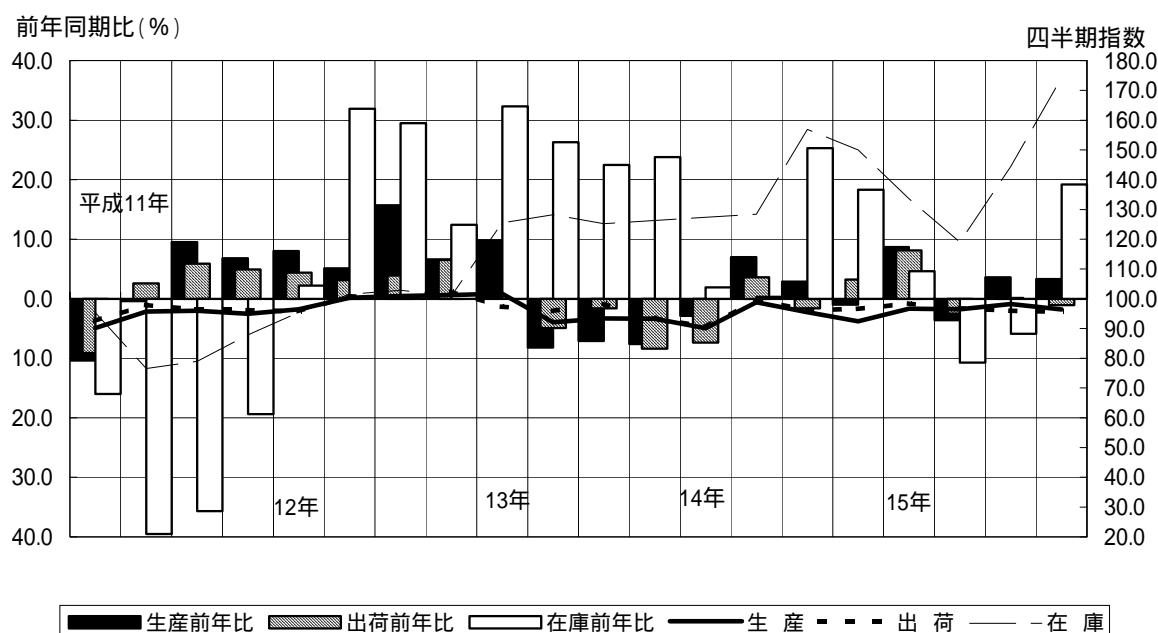
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	94.1	1.0	95.7	0.7	84.3	28.8
平成12年	100.0	6.3	100.0	4.5	100.0	18.6
平成13年	95.1	4.9	96.2	3.8	126.0	26.0
平成14年	94.2	0.9	95.6	0.6	140.4	11.4
平成15年	96.8	2.8	96.6	1.0	142.4	1.4

表11 非鉄金属工業四半期別指数及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	90.2	95.7	96.0	94.9	96.5	100.3	100.9	101.2	101.7	92.1	93.4	93.3	90.1	98.8	95.5	92.4	96.7	96.5	98.2	96.4
出荷	92.5	97.9	96.4	96.2	95.8	100.8	100.3	102.4	97.3	95.9	98.3	93.5	90.5	99.6	96.2	96.6	98.4	96.9	96.0	95.6
在庫	95.3	76.5	78.9	87.9	95.4	101.5	102.9	100.9	125.5	128.2	125.2	126.3	127.3	128.4	156.9	150.0	133.5	119.0	144.4	174.3
生産前年比	10.4	0.4	9.5	6.8	8.0	5.1	15.7	6.6	9.8	8.2	7.1	7.6	2.9	7.0	2.9	1.0	8.7	3.6	3.6	3.3
出荷前年比	9.1	2.6	5.9	4.9	4.4	3.1	3.9	6.5	0.0	4.9	1.6	8.4	7.4	3.6	1.6	3.2	8.1	2.5	0.1	1.1
在庫前年比	16.0	39.5	35.7	19.4	2.2	31.9	29.5	12.4	32.3	26.3	22.5	23.8	1.9	0.3	25.3	18.3	4.6	10.7	5.9	19.2

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図9 非鉄金属工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0





## ウ 金属製品工業

平成15年の生産指数（原指数年平均）は、74.5で前年比10.2%、出荷指数は66.3で同10.1%それぞれ上昇し、在庫指数は47.4で同25.5%低下した（表12）。

品目別でみると、生産は、鉄骨、粉末冶金製機械材料、超硬工具が上昇し、橋りょう、アルミニウム製建具、鉄塔など6品目が低下した。

出荷は、鉄骨、粉末冶金製機械材料が上昇し、橋りょう、超硬工具、アルミニウム製建具など7品目が低下した。

在庫は、超硬工具、産業用軽金属板、金網が低下した。

表12 金属製品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

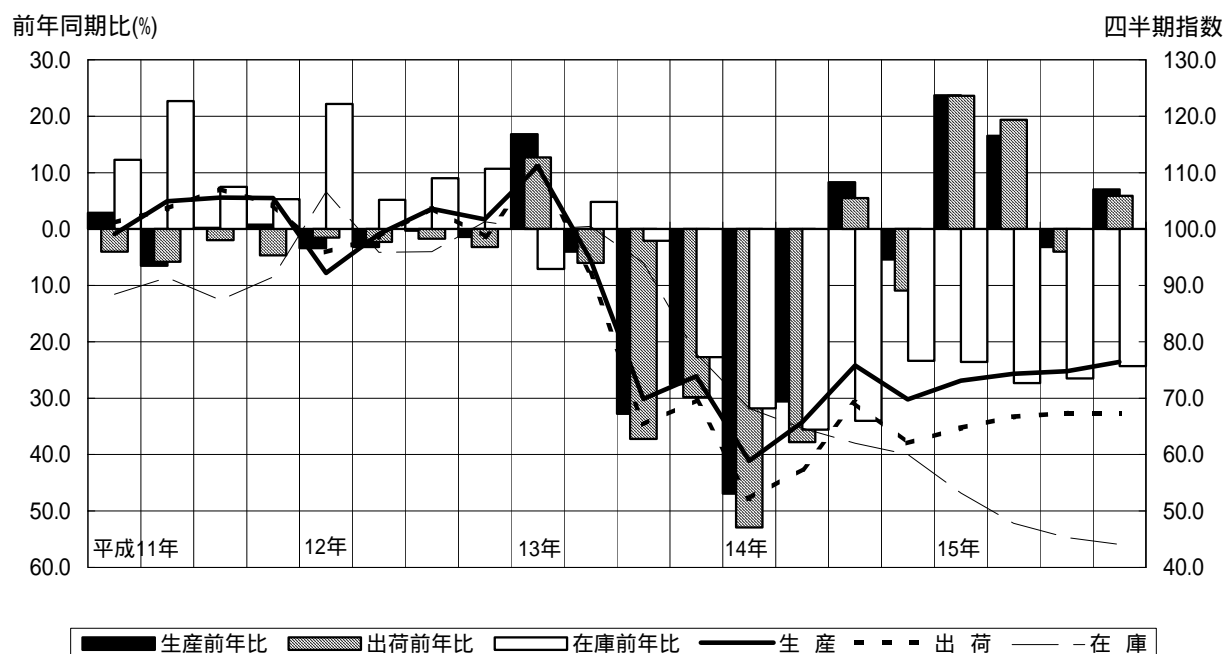
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	102.1	3.4	102.2	4.1	89.6	11.6
平成12年	100.0	2.1	100.0	2.2	100.0	11.7
平成13年	87.3	12.7	84.5	15.5	93.0	7.0
平成14年	67.6	22.6	60.2	28.8	63.6	31.6
平成15年	74.5	10.2	66.3	10.1	47.4	25.5

表13 金属製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
生産	99.1	104.9	105.6	105.5	92.2	99.1	103.6	101.7	111.1	94.6	69.9	73.9	58.9	65.7	75.8	69.8	73.1	74.3	74.8	76.4
出荷	101.1	103.6	107.1	104.3	95.9	98.6	103.7	98.7	111.0	92.2	65.3	69.6	52.2	57.4	69.2	62.0	64.7	66.7	67.4	67.3
在庫	88.4	91.4	87.4	91.5	106.6	95.9	96.0	101.3	99.9	100.5	94.0	77.9	68.2	64.7	62.0	60.0	53.2	47.8	45.3	44.1
生産前年比	2.9	6.5	0.2	0.8	3.4	3.2	0.3	1.4	16.8	4.0	32.8	27.5	46.9	30.6	8.3	5.4	23.7	16.5	3.2	7.0
出荷前年比	4.0	5.8	2.0	4.7	1.5	2.3	1.7	3.2	12.7	6.0	37.2	29.8	52.9	37.8	5.5	10.9	23.6	19.4	4.0	5.9
在庫前年比	12.3	22.7	7.5	5.3	22.2	5.2	9.0	10.7	7.1	4.8	2.1	22.7	31.8	35.6	34.0	23.4	23.6	27.3	26.5	24.3

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図10 金属製品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## エ 一般機械工業

平成15年の生産指数（原指数年平均）は、93.2で前年比4.0%、出荷指数は89.6で同2.3%、在庫指数は158.2で同132.0%それぞれ上昇した（表14）。

品目別でみると、生産は、バルブ及びコック、電動工具、ダイヤモンド工具など13品目が上昇し、せん断機、特殊鋼切削工具、パルプ・製紙機械など8品目が低下した。

出荷は、バルブ及びコック、C(W)BN 工具、電動工具など11品目が上昇し、せん断機、特殊鋼切削工具、パルプ・製紙機械など10品目が低下した。

在庫は、特殊鋼切削工具、食料品加工機械、圧縮機など5品目が上昇し、木材加工機械、油圧機器、金属工作機械など4品目が低下した。

表14 一般機械工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

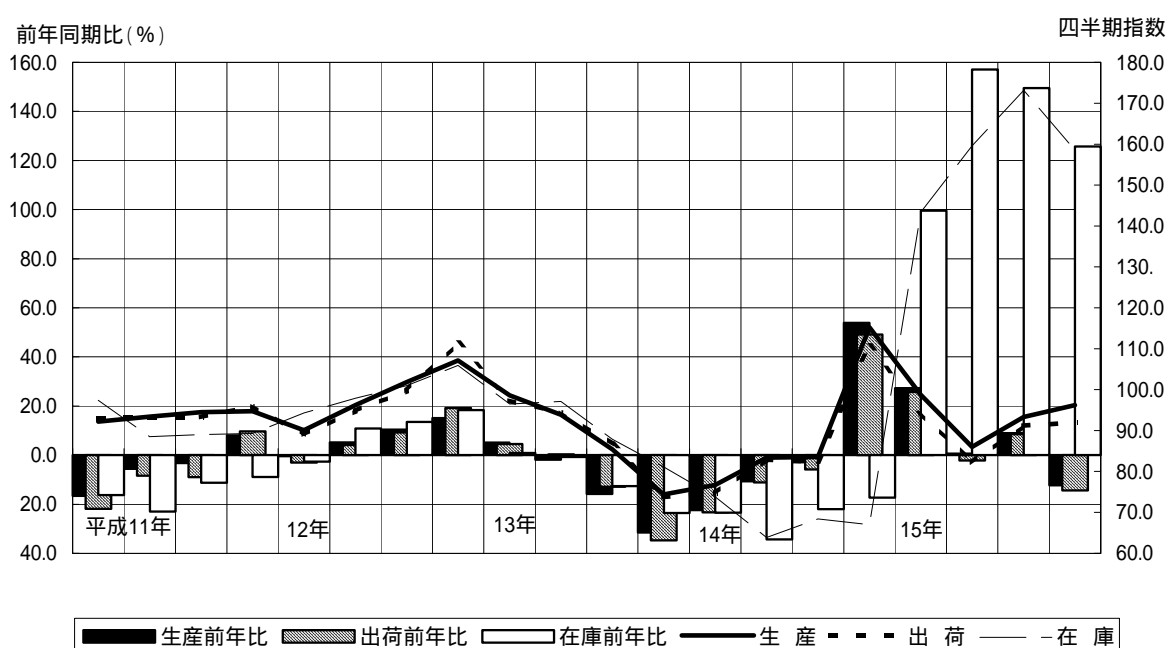
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	92.9	5.1	93.1	8.7	91.2	15.2
平成12年	100.0	7.6	100.0	7.4	100.0	9.6
平成13年	88.1	11.9	88.0	12.0	90.6	9.4
平成14年	89.6	1.7	87.6	0.5	68.2	24.7
平成15年	93.2	4.0	89.6	2.3	158.2	132.0

表15 一般機械工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	92.2	93.4	94.5	94.7	90.1	96.2	101.8	107.1	98.6	93.9	85.4	74.4	76.7	83.4	83.5	115.2	98.7	86.0	93.3	96.2
出荷	93.0	93.2	93.3	95.9	89.0	94.8	99.7	111.4	97.3	94.4	86.7	73.7	74.7	82.9	82.4	110.7	94.4	82.2	91.2	92.0
在庫	97.4	88.5	89.0	89.3	94.3	97.9	101.0	105.9	96.5	97.1	87.9	81.1	73.8	63.9	68.4	67.0	143.4	159.6	173.2	158.5
生産前年比	16.7	5.6	3.3	8.0	0.4	5.2	10.4	15.0	5.1	1.8	15.8	31.5	22.4	10.6	2.9	53.9	27.3	0.6	9.0	12.3
出荷前年比	21.9	8.4	9.0	9.6	3.0	4.1	9.2	19.2	4.5	0.3	12.9	34.7	23.3	11.1	5.9	49.1	25.7	2.2	8.5	14.4
在庫前年比	16.3	23.0	11.3	8.9	2.7	10.8	13.5	18.3	0.9	0.8	12.6	23.6	23.5	34.4	22.0	17.3	99.5	157.1	149.6	125.7

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図11 一般機械工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## オ 電気機械工業

平成15年の生産指数(原指数年平均)は、110.2で前年比19.1%、出荷指数は129.4で同29.5%、在庫指数は192.3で同14.1%それぞれ上昇した(表16)。

品目別でみると、生産は、シリコンウェハ、アルカリ蓄電池、リチウムイオン蓄電池など10品目が上昇し、開閉機器、ビデオ機器、直流機など7品目が低下した。

出荷は、シリコンウェハ、アルカリ蓄電池、リチウムイオン蓄電池など10品目が上昇し、開閉機器、ビデオ機器、直流機など7品目が低下した。

在庫は、リチウムイオン蓄電池、シリコンウェハ、乾電池など6品目が上昇した。

表16 電気機械工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

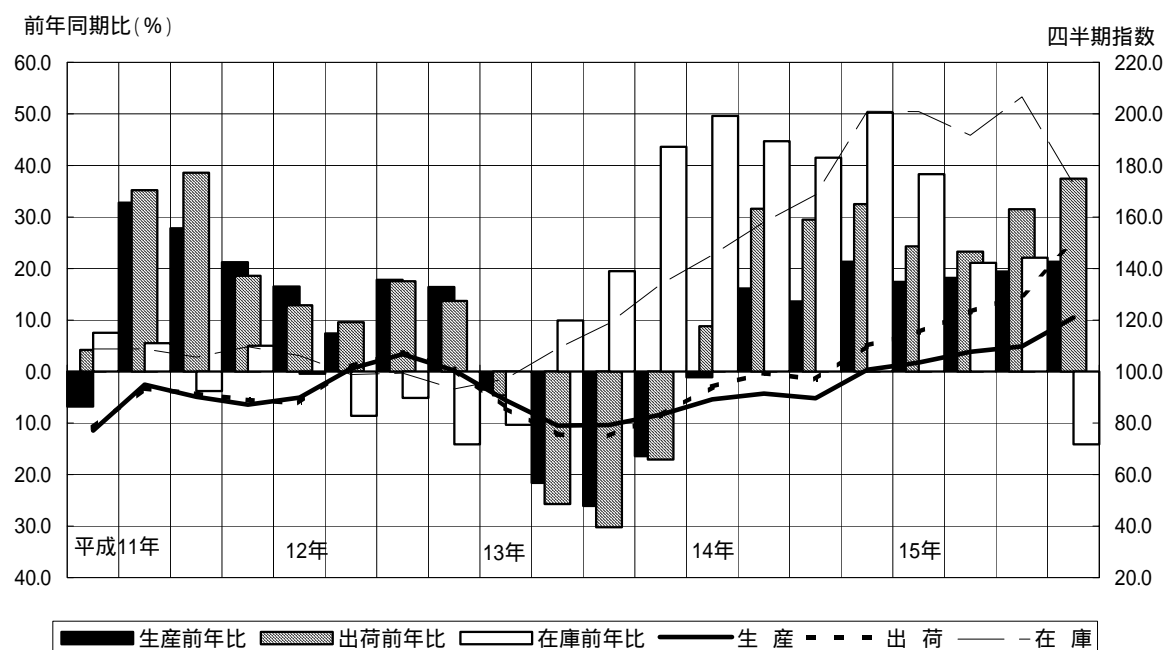
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	87.3	17.5	88.1	23.7	107.7	3.5
平成12年	100.0	14.5	100.0	13.5	100.0	7.1
平成13年	82.5	17.5	79.8	20.2	115.1	15.1
平成14年	92.5	12.1	99.9	25.2	168.6	46.5
平成15年	110.2	19.1	129.4	29.5	192.3	14.1

表17 電気機械工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	77.1	94.9	90.2	87.2	89.9	101.2	106.8	100.4	88.9	79.0	79.2	83.3	89.2	91.4	89.7	100.7	103.5	107.7	109.8	121.0
出荷	78.2	93.4	91.4	89.0	87.9	102.1	107.5	100.8	85.8	75.6	75.0	83.1	94.1	99.4	97.0	110.1	115.2	123.2	129.8	150.1
在庫	108.8	108.8	105.6	109.7	106.2	98.8	99.4	93.2	97.3	109.0	118.7	133.9	145.2	157.9	168.6	201.0	200.9	191.7	206.6	172.8
生産前年比	6.8	32.8	27.8	21.2	16.5	7.4	17.8	16.4	3.5	21.6	26.1	16.4	1.1	16.1	13.6	21.3	17.4	18.2	19.4	21.3
出荷前年比	4.2	35.2	38.6	18.6	12.9	9.6	17.5	13.7	4.6	25.7	30.2	17.1	8.8	31.6	29.5	32.5	24.3	23.3	31.5	37.4
在庫前年比	7.5	5.5	3.8	5.0	0.4	8.6	5.1	14.1	10.3	9.9	19.5	43.6	49.6	44.7	41.5	50.2	38.3	21.1	22.1	14.1

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図12 電気機械工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## カ 情報通信機械工業

平成15年の生産指数（原指数年平均）は、91.6で前年比 1.1%低下し、出荷指数は101.9で同 5.2%上昇し、在庫指数は89.6で同 17.4%低下した（表18）。

品目別でみると、生産は、カーナビゲーションシステム、パーソナルコンピュータ、電話機が上昇し、液晶テレビジョン受信機、ボタン電話装置、移動通信装置（携帯電話・PHS）など10品目が低下した。

出荷は、カーナビゲーションシステム、パーソナルコンピュータ、電話機が上昇し、液晶テレビジョン受信機、ボタン電話装置、移動通信装置（携帯電話・PHS）など10品目が低下した。

在庫は、カーナビゲーションシステムが上昇し、液晶テレビジョン受信機、電話機、ボタン電話装置など4品目が低下した。

表18 情報通信機械工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

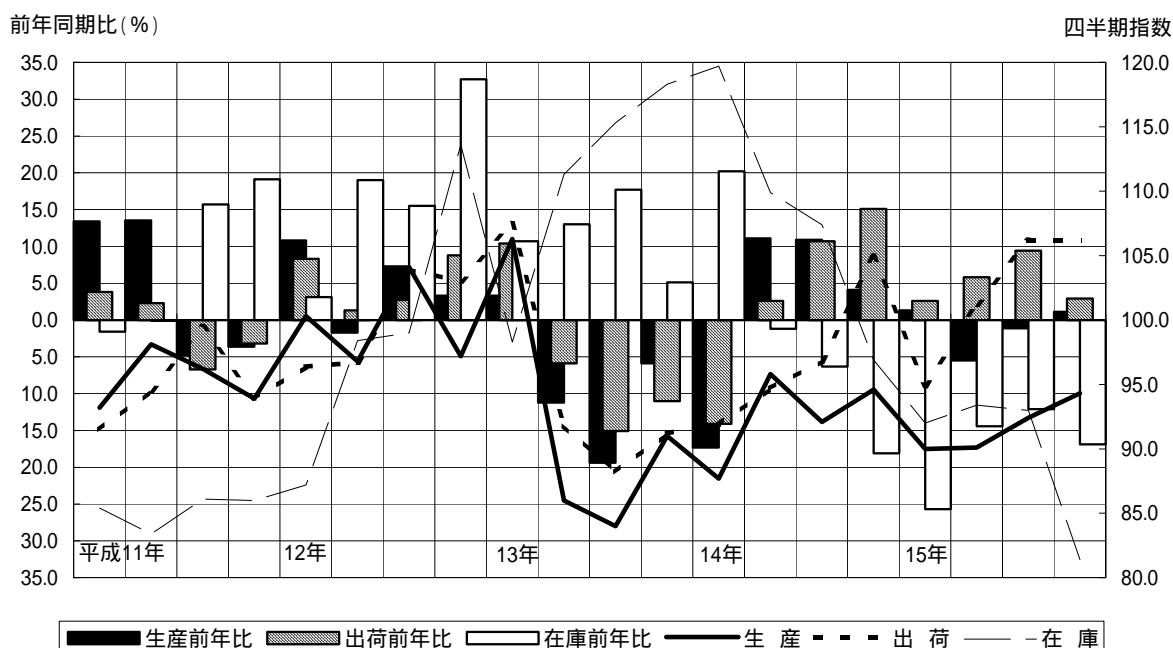
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	95.3	3.7	95.0	1.3	85.0	7.9
平成12年	100.0	4.9	100.0	5.3	100.0	17.6
平成13年	91.5	8.5	94.5	5.5	111.4	11.4
平成14年	92.6	1.2	96.9	2.5	108.5	2.6
平成15年	91.6	1.1	101.9	5.2	89.6	17.4

表19 情報通信機械工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	93.2	98.1	96.2	93.9	100.3	96.8	104.1	97.2	106.3	86.0	84.0	91.0	87.7	95.8	92.1	94.6	90.0	90.1	92.4	94.3
出荷	91.5	94.5	99.5	93.9	96.4	96.7	103.9	103.0	107.5	91.8	88.2	91.2	91.9	94.7	96.8	105.0	94.9	101.2	106.2	106.2
在庫	85.4	83.4	86.1	86.0	87.2	98.4	99.0	113.6	98.3	111.3	115.3	118.3	119.7	109.9	107.4	96.9	92.0	93.4	93.0	81.4
生産前年比	13.4	13.5	4.8	3.6	10.8	1.7	7.3	3.3	3.3	11.2	19.4	5.9	17.3	11.1	10.9	4.1	1.3	5.5	1.1	1.1
出荷前年比	3.8	2.3	6.7	3.2	8.3	1.3	2.7	8.8	10.4	5.9	15.1	11.0	14.1	2.6	10.7	15.1	2.6	5.8	9.4	2.9
在庫前年比	1.6	0.1	15.7	19.1	3.1	19.0	15.5	32.7	10.7	13.0	17.7	5.1	20.2	1.2	6.3	18.1	25.7	14.4	12.1	16.9

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図13 情報通信機械工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## キ 電子部品・デバイス工業

平成15年の生産指数（原指数年平均）は、94.2で前年比5.3%、出荷指数は91.2で同4.5%、在庫指数は162.5で同14.8%それぞれ上昇した（表20）。

品目別でみると、生産は、テレビジョン・ビデオ用チューナ、液晶素子、コネクタなど7品目が上昇し、スイッチ、トランス、プリント配線板など6品目が低下した。

出荷は、テレビジョン・ビデオ用チューナ、液晶素子、コネクタなど7品目が上昇し、スイッチ、トランス、プリント配線板など6品目が低下した。

在庫は、混成集積回路が上昇し、半導体素子、液晶素子が低下した。

表20 電子部品・デバイス工業年別指数の推移（平成12年=100.0原指数）

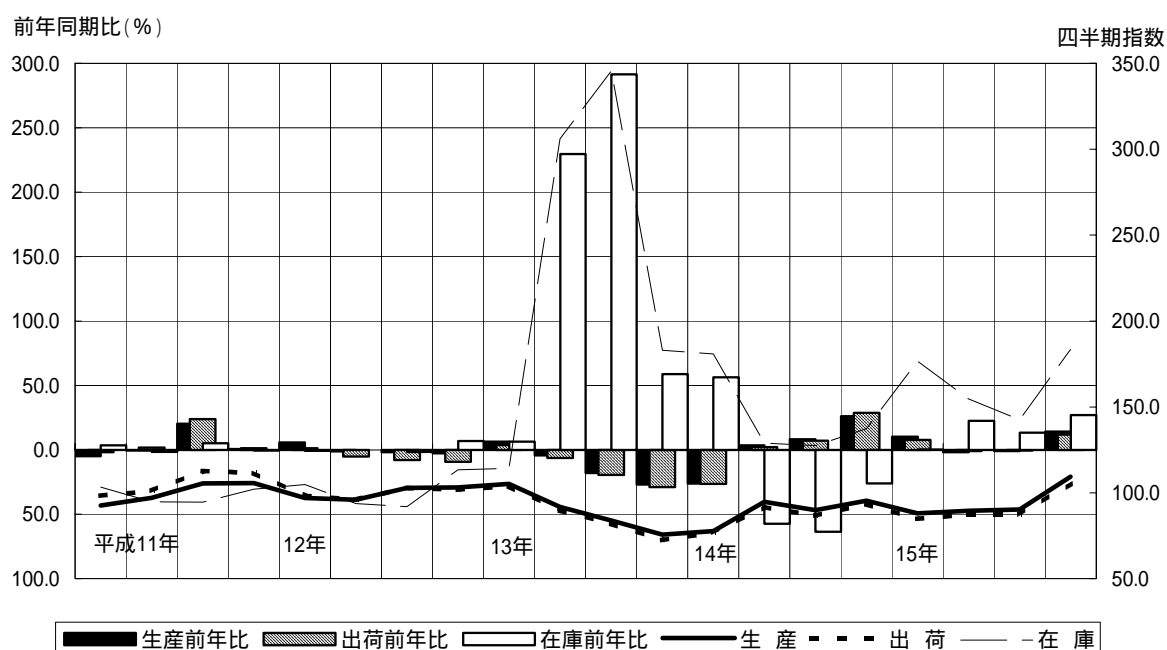
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	100.1	3.5	105.8	5.8	99.0	1.5
平成12年	100.0	0.1	100.0	5.5	100.0	1.0
平成13年	88.9	11.1	86.8	13.2	246.7	146.7
平成14年	89.5	0.7	87.3	0.6	141.6	42.6
平成15年	94.2	5.3	91.2	4.5	162.5	14.8

表21 電子部品・デバイス工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
生産	92.6	97.2	105.5	105.7	96.9	96.0	102.8	103.2	105.1	91.7	83.9	75.6	77.7	94.8	89.9	95.5	88.0	89.6	90.3	109.4
出荷	98.3	101.1	112.8	111.5	98.3	95.9	102.8	101.9	103.9	89.8	82.1	72.4	76.9	91.7	86.8	93.5	84.9	87.4	87.4	105.5
在庫	103.3	94.7	94.6	102.1	104.9	93.8	91.9	113.4	114.2	306.0	345.7	183.0	180.8	129.0	127.4	137.3	176.6	154.7	142.6	183.4
生産前年比	4.9	0.5	20.2	0.7	5.8	1.1	1.8	2.8	6.4	4.4	17.9	26.9	26.3	3.6	8.2	26.0	10.3	1.8	0.9	14.3
出荷前年比	1.9	1.7	23.8	1.3	1.3	5.2	7.8	9.2	3.8	6.4	19.6	29.0	26.4	2.2	7.1	28.8	7.8	0.9	0.4	11.7
在庫前年比	3.5	1.6	5.0	0.6	0.8	0.1	1.7	6.9	6.5	229.6	291.6	58.8	56.4	57.2	63.5	26.0	0.1	22.6	13.4	26.9

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図14 電子部品・デバイス工業四半期別指数の推移（季節調整済指数）及び前年同期比（原指数）平成12年=100.0



## ク 輸送機械工業

平成15年の生産指数(原指数年平均)は、101.0で前年比1.5%、出荷指数は100.6で同1.7%それぞれ上昇し、在庫指数は77.0で同18.9%低下した(表22)。

品目別でみると、生産は、自動車用シリンダーライナ、自転車、自動車用ブレーキシリンダなど5品目が上昇し、ワイパー、自動車用ブレーキシュー、自動車車体部品など5品目が低下した。

出荷は、自動車用シリンダーライナ、自動車用ブレーキシリンダ、自動車用ポンプ類など5品目が上昇し、自転車部品、ワイパー、自動車用ブレーキシューなど5品目が低下した。

在庫は、自転車部品、自転車が低下した。

表22 輸送機械工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

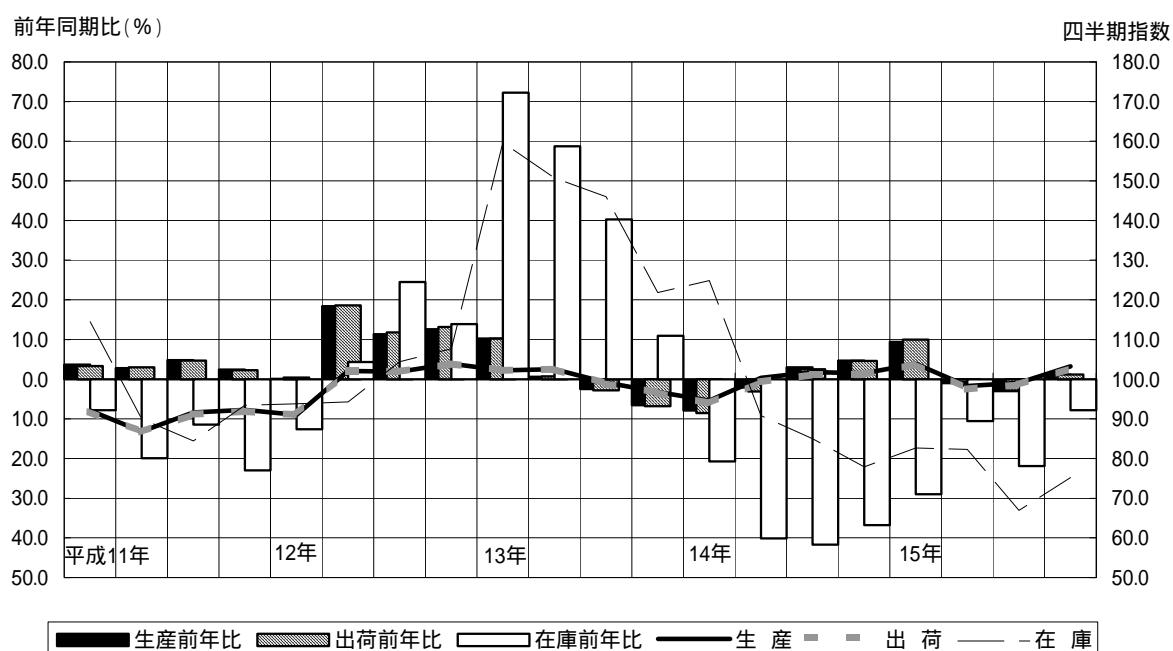
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	90.5	3.4	90.2	3.3	94.2	15.7
平成12年	100.0	10.5	100.0	10.9	100.0	6.2
平成13年	100.2	0.2	100.0	0.0	144.4	44.4
平成14年	99.5	0.7	98.9	1.1	94.9	34.3
平成15年	101.0	1.5	100.6	1.7	77.0	18.9

表23 輸送機械工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	92.1	86.8	91.6	92.3	91.0	102.1	101.9	103.9	102.2	102.5	99.2	96.8	94.6	100.3	101.8	101.5	103.9	98.3	99.1	103.2
出荷	91.8	86.7	91.2	91.9	91.0	102.1	101.9	103.9	102.2	102.5	98.9	96.6	93.9	99.3	101.1	101.2	103.8	97.5	98.6	102.8
在庫	114.5	90.0	84.4	93.4	93.8	94.3	104.4	107.7	159.7	150.7	146.0	121.8	124.9	90.8	85.0	77.9	82.7	82.3	66.9	75.2
生産前年比	3.7	2.8	4.8	2.4	0.1	18.4	11.4	12.6	10.3	0.6	2.5	6.6	7.9	2.1	3.0	4.7	9.4	1.0	3.0	1.1
出荷前年比	3.3	3.0	4.7	2.3	0.4	18.6	11.8	13.2	10.2	0.7	2.8	6.8	8.5	3.1	2.5	4.6	10.0	0.7	2.9	1.2
在庫前年比	7.8	19.9	11.4	23.0	12.6	4.3	24.5	13.9	72.2	58.7	40.3	10.9	20.7	40.1	41.7	36.8	29.0	10.6	21.9	7.8

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図15 輸送機械工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## ケ 精密機械工業

平成15年の生産指数（原指数年平均）は、84.3で前年比 6.4%低下し、出荷指数は96.7で同 5.1%上昇し、在庫指数は121.5で同 27.5%低下した（表24）。

品目別でみると、生産は、精密測定器、カメラ、分析機器が上昇し、工業用計重機、カメラ用交換レンズ、携帯時計側など5品目が低下した。

出荷は、カメラ、精密測定器、分析機器が上昇し、工業用計重機、携帯時計側、カメラ用交換レンズなど5品目が低下した。

在庫は、カメラ用交換レンズが上昇し、分析機器、カメラ、ガスメータが低下した。

表24 精密機械工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

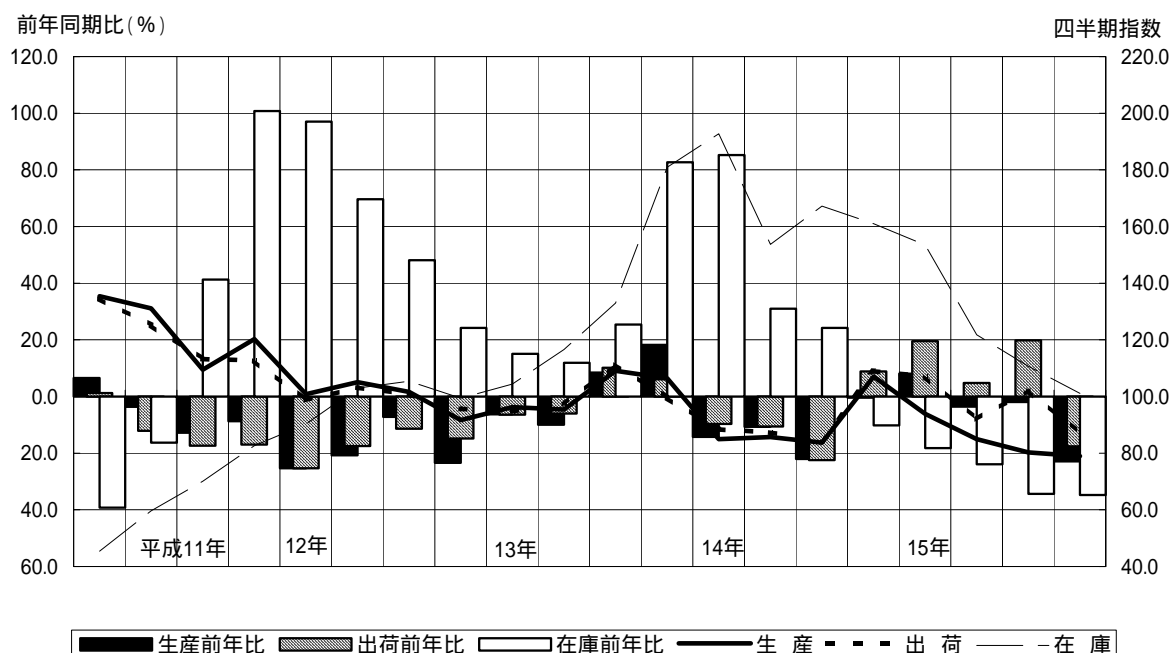
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	124.3	4.8	121.3	11.4	64.7	8.1
平成12年	100.0	19.5	100.0	17.6	100.0	54.6
平成13年	102.3	2.3	100.9	0.9	133.4	33.4
平成14年	90.1	11.9	92.0	8.8	167.7	25.7
平成15年	84.3	6.4	96.7	5.1	121.5	27.5

表25 精密機械工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
生産	135.4	131.1	109.5	120.2	100.8	105.1	101.6	91.7	96.2	95.4	109.1	106.4	84.9	85.7	83.7	107.0	93.9	84.9	80.3	79.0
出荷	134.5	125.2	113.2	112.7	98.7	103.2	100.8	95.6	94.7	97.2	111.3	99.6	88.4	87.3	84.6	108.9	107.0	92.0	102.1	87.0
在庫	45.4	59.6	70.1	82.6	90.3	102.9	105.4	99.4	104.4	116.6	132.9	181.0	192.7	153.7	167.2	161.0	153.5	121.8	110.7	101.1
生産前年比	6.5	3.7	12.8	8.7	25.3	20.7	7.2	23.4	6.3	10.0	8.4	18.2	14.2	10.7	22.1	0.4	8.0	3.6	1.9	22.9
出荷前年比	1.2	12.1	17.4	17.0	25.3	17.5	11.4	14.8	6.4	6.0	10.2	6.1	9.7	10.6	22.5	8.8	19.5	4.8	19.8	17.6
在庫前年比	39.3	16.3	41.3	100.8	97.0	69.7	48.1	24.2	15.1	11.9	25.4	82.7	85.2	31.0	24.2	10.2	18.2	23.9	34.4	34.8

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図16 精密機械工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



コ 窯業・土石製品工業

平成15年の生産指数（原指数年平均）は、91.0で前年比1.7%、出荷指数は97.1で同4.0%、在庫指数は122.3で同9.4%それぞれ上昇した（表26）

品目別でみると、生産は、ファインセラミックス、炭素繊維、生コンクリートなど9品目が上昇し、耐火れんが、遠心力鉄筋コンクリート管、遠心力鉄筋コンクリートポールなど9品目が低下した。

出荷は、ファインセラミックス、生コンクリート、ガラス短繊維など11品目が上昇し、遠心力鉄筋コンクリートポール、耐火れんが、不定型耐火物など7品目が低下した。

在庫は、ガラス基礎製品、不定型耐火物、木材セメント板など6品目が上昇し、炭素繊維、遠心力鉄筋コンクリートパイル、遠心力鉄筋コンクリートポールなど11品目が低下した。

表26 窯業・土石製品工業年別指数の推移（平成12年=100.0原指数）

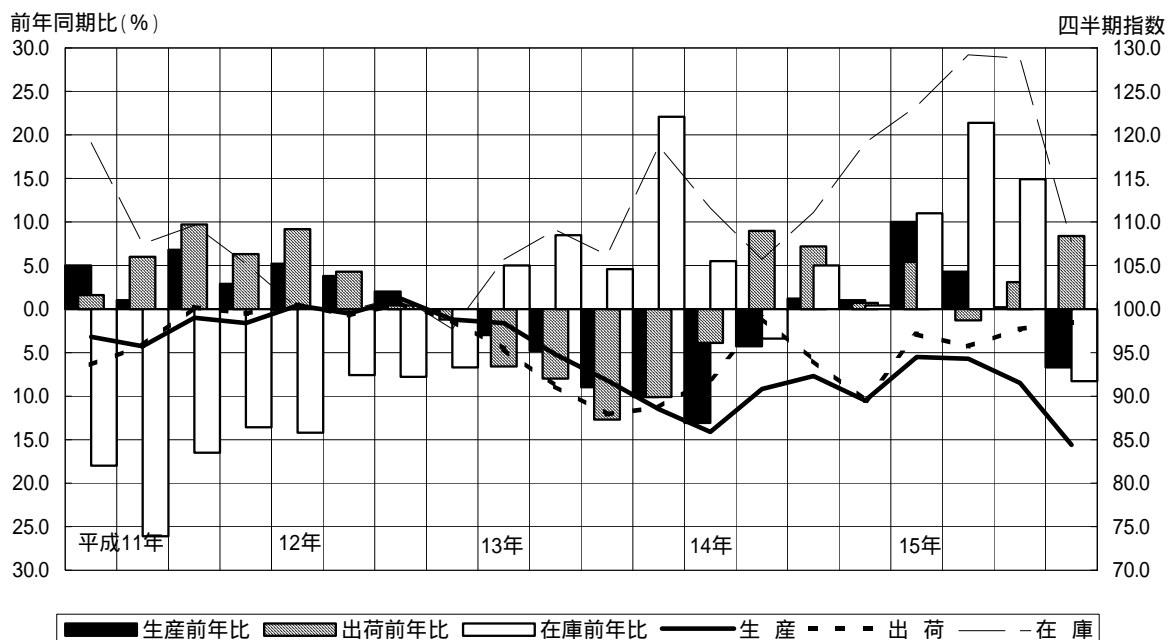
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	97.4	3.8	97.1	5.8	110.0	18.8
平成12年	100.0	2.7	100.0	3.0	100.0	9.1
平成13年	93.2	6.8	90.7	9.3	109.8	9.8
平成14年	89.5	4.0	93.4	3.0	111.8	1.8
平成15年	91.0	1.7	97.1	4.0	122.3	9.4

表27 窯業・土石製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	生産	96.8	95.7	99.0	98.4	100.4	99.5	101.2	98.8	98.4	94.8	91.8	88.5	85.9	90.8	92.3	89.5	94.5	94.3	91.5
出荷	93.6	95.8	100.2	99.5	100.5	99.3	100.6	98.7	95.4	91.1	87.9	88.7	92.0	99.0	94.1	89.5	97.1	95.7	97.7	98.5
在庫	119.1	107.5	109.6	105.2	100.1	99.9	101.4	97.7	105.7	109.1	106.2	118.7	111.6	105.7	111.1	119.1	123.3	129.2	128.8	107.7
生産前年比	5.0	1.0	6.8	2.9	5.2	3.8	2.0	0.2	3.0	4.8	9.0	10.1	13.1	4.3	1.2	1.0	10.0	4.3	0.2	6.7
出荷前年比	1.6	6.0	9.7	6.3	9.2	4.3	0.4	1.2	6.6	8.0	12.7	10.1	3.9	9.0	7.2	0.7	5.4	1.3	3.1	8.4
在庫前年比	18.0	26.1	16.5	13.6	14.2	7.6	7.8	6.7	5.0	8.5	4.6	22.1	5.5	3.4	5.0	0.4	11.0	21.4	14.9	8.3

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図17 窯業・土石製品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0





## サ 化学工業

平成15年の生産指数（原指数年平均）は、98.4で前年比4.0%、出荷指数は95.4で同4.0%、在庫指数は141.0で同10.8%それぞれ上昇した（表28）。

品目別でみると、生産は、合成染料、活性炭、有機ゴム薬品など16品目が上昇し、塩化メチル、塩化ビニル樹脂、フェノール樹脂など11品目が低下した。

出荷は、活性炭、合成染料、クロルベンゼンなど14品目が上昇し、塩素、塩化メチル、複合肥料など13品目が低下した。

在庫は、クロルベンゼン、過酸化水素、動物用医薬品など10品目が上昇し、活性炭、合成染料、農薬など12品目が低下した。

表28 化学工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

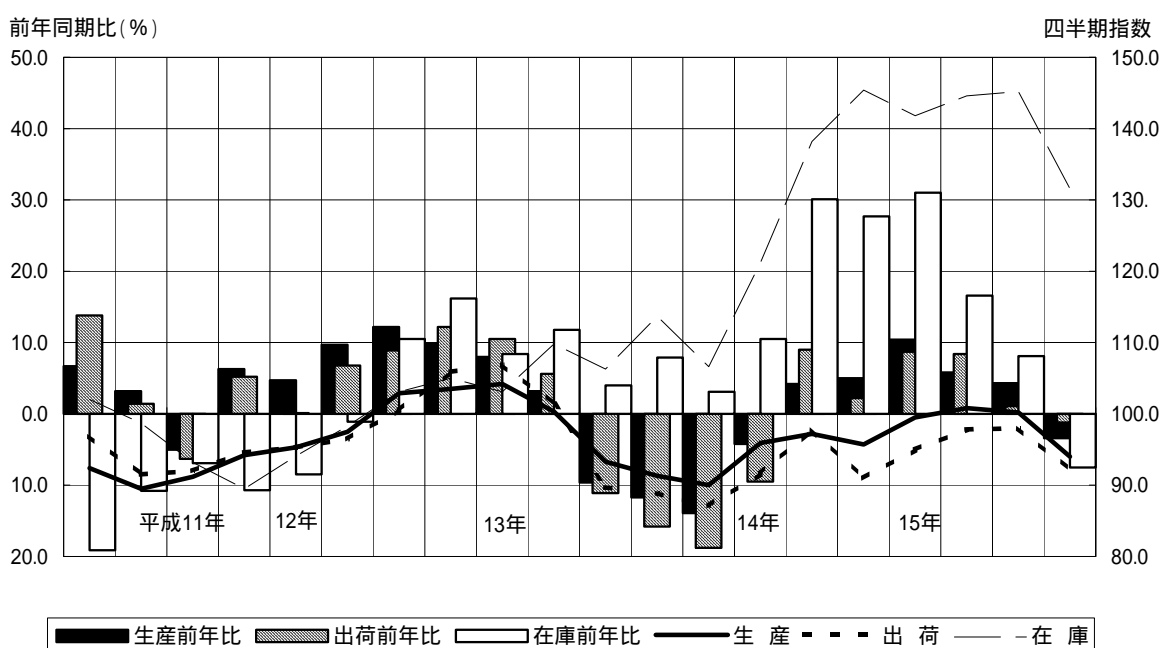
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	91.7	2.8	93.4	3.3	96.6	12.4
平成12年	100.0	9.1	100.0	7.1	100.0	3.6
平成13年	97.2	2.8	96.6	3.4	108.0	8.0
平成14年	94.6	2.7	91.7	5.1	127.3	17.9
平成15年	98.4	4.0	95.4	4.0	141.0	10.8

表29 化学工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	92.4	89.5	91.2	94.2	95.3	97.5	102.9	103.5	104.2	100.3	93.3	91.3	90.0	95.9	97.2	95.7	99.5	100.8	100.2	94.0
出荷	96.9	91.5	92.0	94.6	95.3	96.5	100.5	105.9	106.9	101.4	89.7	88.9	87.1	91.6	97.8	91.0	95.0	97.8	98.0	92.1
在庫	102.0	98.7	93.2	89.5	94.1	98.3	103.1	105.0	103.1	109.8	106.3	113.7	106.6	121.2	138.2	145.4	141.8	144.6	145.2	131.6
生産前年比	6.7	3.2	5.0	6.3	4.7	9.7	12.2	9.9	8.0	3.2	9.6	11.7	13.9	4.2	4.2	5.0	10.4	5.8	4.3	3.4
出荷前年比	13.8	1.4	6.3	5.2	0.1	6.8	8.9	12.2	10.5	5.6	11.1	15.8	18.8	9.5	9.0	2.2	8.7	8.4	1.1	1.2
在庫前年比	19.1	10.8	6.9	10.7	8.5	1.1	10.5	16.2	8.4	11.8	4.0	7.9	3.1	10.5	30.1	27.7	31.0	16.6	8.1	7.5

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図18 化学工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## シ プラスチック製品工業

平成15年の生産指数（原指数年平均）は、97.1で前年比 3.2%低下し、出荷指数は112.5で同 10.5%、在庫指数は143.6で同 27.5%それぞれ上昇した（表30）。

品目別でみると、生産は、プラスチック製容器、発泡製品、プラスチック製フィルムが上昇し、プラスチック製日用品・雑貨、プラスチック製機械器具部品、ウレタンフォームなど4品目が低下した。

出荷は、プラスチック製機械器具部品、発泡製品、強化製品など5品目が上昇し、プラスチック製日用品・雑貨、ウレタンフォームが低下した。

在庫は、プラスチック製機械器具部品、発泡製品が上昇し、プラスチック製日用品・雑貨、ウレタンフォーム、プラスチック製容器など4品目が低下した。

表30 プラスチック製品工業年別指数の推移（平成12年=100.0原指数）

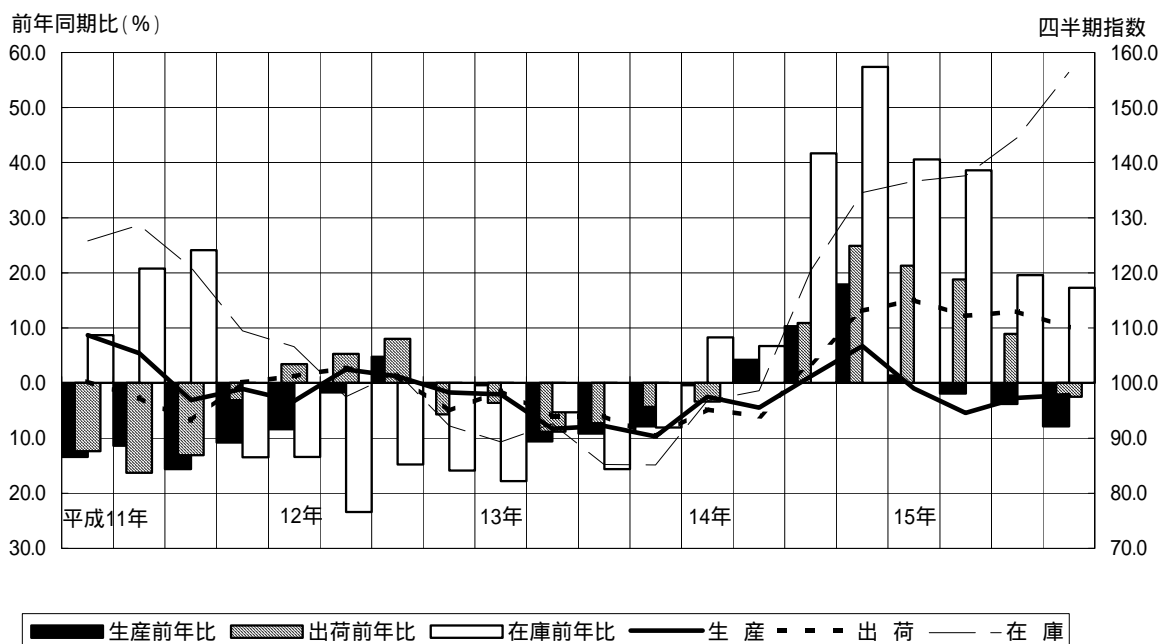
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	101.6	12.8	97.6	11.2	120.3	8.5
平成12年	100.0	1.6	100.0	2.5	100.0	16.9
平成13年	92.8	7.2	94.0	6.0	88.0	12.0
平成14年	100.3	8.1	101.8	8.3	112.6	28.0
平成15年	97.1	3.2	112.5	10.5	143.6	27.5

表31 プラスチック製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
生産	108.7	105.4	96.9	98.9	96.7	102.5	101.2	98.3	97.9	91.7	92.2	90.3	97.5	95.5	101.2	106.7	99.0	94.6	97.3	97.8
出荷	100.3	97.3	93.1	100.1	101.2	102.8	101.2	94.9	98.6	93.9	94.0	90.3	95.2	94.0	103.7	113.1	115.1	112.2	113.0	110.1
在庫	125.8	128.7	121.0	109.5	106.6	97.5	101.9	92.2	89.3	92.6	85.2	85.1	96.8	98.6	120.4	134.6	136.6	137.6	144.5	156.4
生産前年比	13.4	11.4	15.6	10.8	8.4	1.7	4.8	0.5	0.4	10.6	9.2	7.9	0.4	4.2	10.3	17.9	1.4	1.9	3.8	7.9
出荷前年比	12.4	16.3	13.1	3.1	3.4	5.3	8.0	5.7	3.6	8.8	7.3	4.3	3.4	0.0	10.9	24.9	21.3	18.8	8.9	2.5
在庫前年比	8.7	20.8	24.1	13.5	13.4	23.4	14.8	15.9	17.8	5.3	15.6	8.1	8.3	6.7	41.7	57.4	40.6	38.6	19.6	17.3

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図19 プラスチック製品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## ス パルプ・紙・紙加工品工業

平成15年の生産指数(原指数年平均)は、104.6で前年比1.6%、出荷指数は106.8で同1.0%、在庫指数は118.3で同8.1%それぞれ上昇した(表32)。

品目別でみると、生産は、雑板紙、雑種紙、新聞巻取紙など7品目が上昇し、塗工紙が低下した。

出荷は、雑板紙、雑種紙、段ボールシートなど6品目が上昇し、塗工紙、段ボール箱が低下した。

在庫は、塗工紙、雑板紙、段ボール原紙が上昇し、雑種紙、段ボール箱、段ボールシートが低下した。

表32 パルプ・紙・紙加工品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

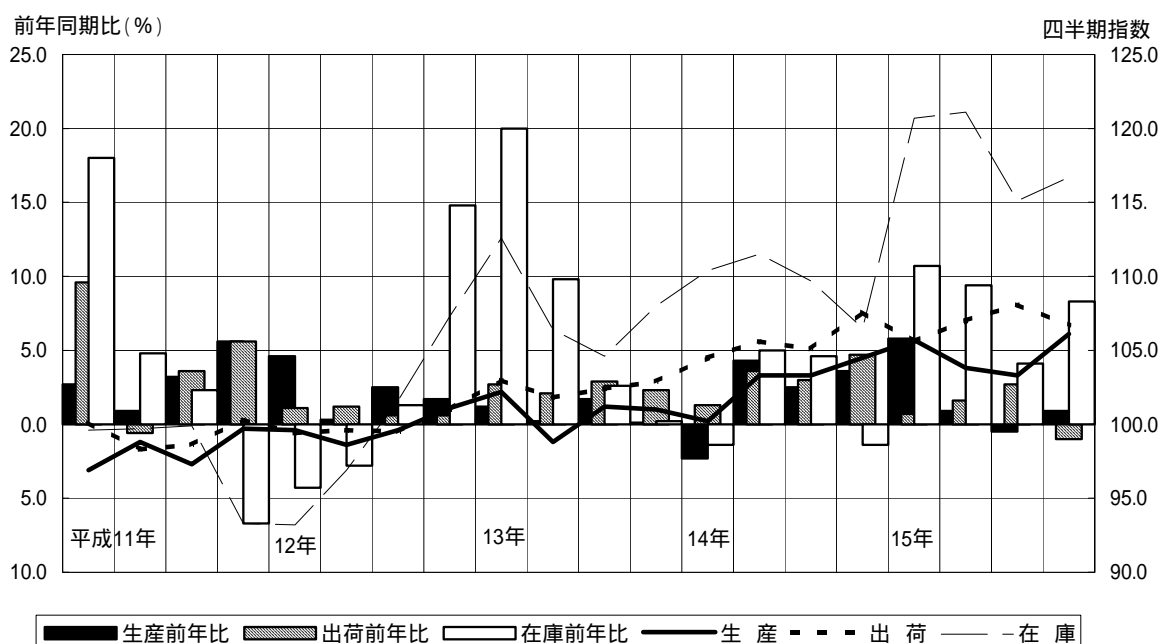
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	97.9	3.2	99.2	4.4	97.9	3.9
平成12年	100.0	2.1	100.0	0.9	100.0	2.1
平成13年	100.8	0.8	102.5	2.5	107.7	7.7
平成14年	103.0	2.2	105.7	3.1	109.4	1.6
平成15年	104.6	1.6	106.8	1.0	118.3	8.1

表33 パルプ・紙・紙加工品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
生産	96.9	98.8	97.3	99.7	99.6	98.6	99.6	101.1	102.2	98.8	101.2	101.0	100.2	103.3	103.3	104.5	105.7	103.8	103.3	106.1
出荷	100.1	98.3	98.6	100.3	99.4	99.6	99.5	101.0	103.0	101.8	102.4	102.9	104.5	105.6	105.1	107.6	105.6	107.0	108.1	106.7
在庫	99.6	99.7	99.9	93.3	93.2	96.9	101.6	107.3	112.6	106.4	104.6	108.0	110.4	111.5	109.7	106.5	120.7	121.1	115.1	116.7
生産前年比	2.7	0.9	3.2	5.6	4.6	0.3	2.5	1.7	1.2	0.2	1.7	0.1	2.3	4.3	2.5	3.6	5.8	0.9	0.5	0.9
出荷前年比	9.6	0.6	3.6	5.6	1.1	1.2	0.6	0.6	2.7	2.1	2.9	2.3	1.3	3.6	3.0	4.7	0.7	1.6	2.7	1.0
在庫前年比	18.0	4.8	2.3	6.7	4.3	2.8	1.3	14.8	20.0	9.8	2.6	0.2	1.4	5.0	4.6	1.4	10.7	9.4	4.1	8.3

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図20 パルプ・紙・紙加工品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



セ 繊維工業

平成15年の生産指数(原指数年平均)は、82.3で前年比 4.5%、出荷指数は80.6で同 4.5%それぞれ低下し、在庫指数は106.5で同 10.6%上昇した(表34)。

品目別でみると、生産は、ニット製外衣が上昇し、ふとん、絹・絹紡織物、合成繊維織物など9品目が低下した。

出荷は、ニット製外衣、ニット製靴下が上昇し、ふとん、合成繊維織物、絹・絹紡織物など8品目が低下した。

在庫は、ニット製靴下、ニット製外衣、織物製補整着など7品目が上昇し、ふとん、絹・絹紡織物、ニット製下着が低下した。

表34 繊維工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

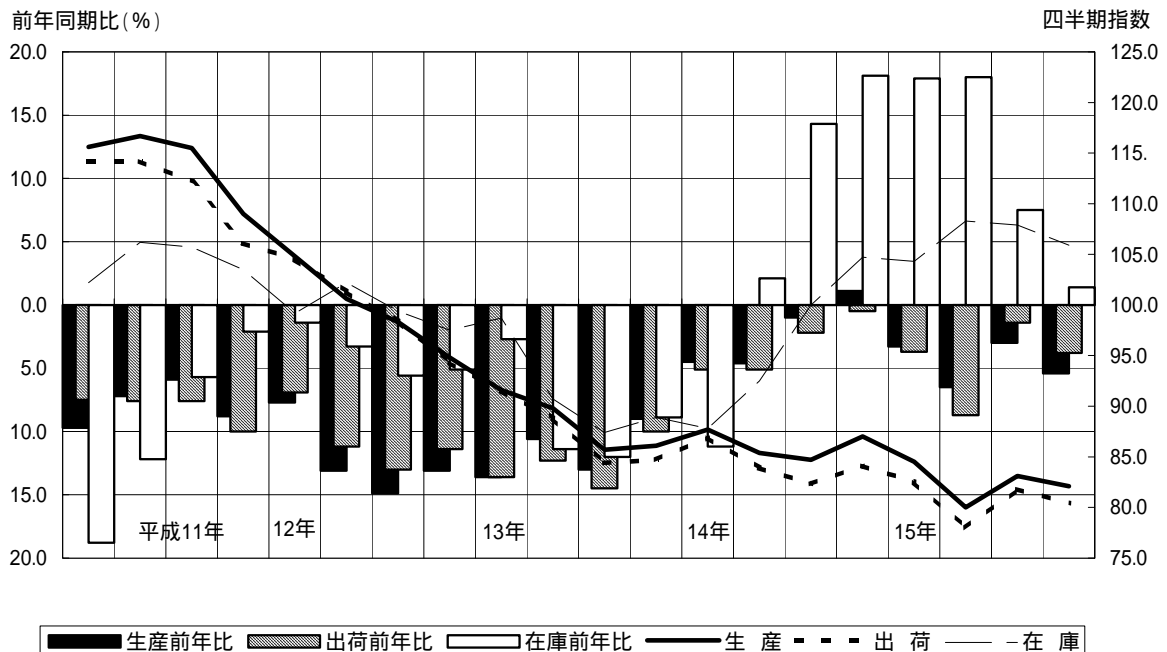
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	113.8	7.9	111.8	8.1	104.1	10.1
平成12年	100.0	12.1	100.0	10.5	100.0	3.9
平成13年	88.3	11.7	87.3	12.7	91.4	8.6
平成14年	86.2	2.4	84.4	3.3	96.3	5.4
平成15年	82.3	4.5	80.6	4.5	106.5	10.6

表35 繊維工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	115.6	116.7	115.5	109.0	104.8	100.6	98.3	94.8	91.6	89.8	85.7	86.1	87.7	85.4	84.7	87.0	84.5	80.0	83.1	82.1
出荷	114.2	114.2	112.2	106.1	104.5	101.3	98.4	94.3	91.5	88.8	84.4	84.7	86.9	83.9	82.3	84.1	82.5	78.0	81.8	80.4
在庫	102.2	106.2	105.7	103.5	99.2	102.2	99.4	97.5	98.7	90.7	87.4	88.9	87.8	92.5	100.0	104.7	104.3	108.3	107.9	105.9
生産前年比	9.7	7.2	5.9	8.8	7.7	13.1	14.9	13.1	13.6	10.6	13.0	9.0	4.5	4.6	1.0	1.1	3.3	6.5	3.0	5.4
出荷前年比	7.5	7.6	7.6	10.0	6.9	11.2	13.0	11.4	13.6	12.3	14.5	10.0	5.1	5.1	2.2	0.5	3.7	8.7	1.4	3.8
在庫前年比	18.8	12.2	5.7	2.1	1.4	3.3	5.6	5.1	2.7	11.4	12.0	8.9	11.2	2.1	14.3	18.1	17.9	18.0	7.5	1.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図21 繊維工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



ソ 食料品・たばこ工業

平成15年の生産指数(原指数年平均)は、97.2で前年比 3.1%、出荷指数は98.4で同 2.4%それぞれ低下し、在庫指数は127.2で同5.2%上昇した(表36)。

品目別でみると、生産は、焼酎、パン、肉製品など12品目が上昇し、清涼飲料、配合飼料、海藻加工品など13品目が低下した。

出荷は、焼酎、冷凍水産物、パンなど13品目が上昇し、清涼飲料、配合飼料、海藻加工品など12品目が低下した。

在庫は、ビール、精米、めん類など4品目が上昇し、配合飼料、焼酎、練乳・粉乳など7品目が低下した。

表36 食料品・たばこ工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

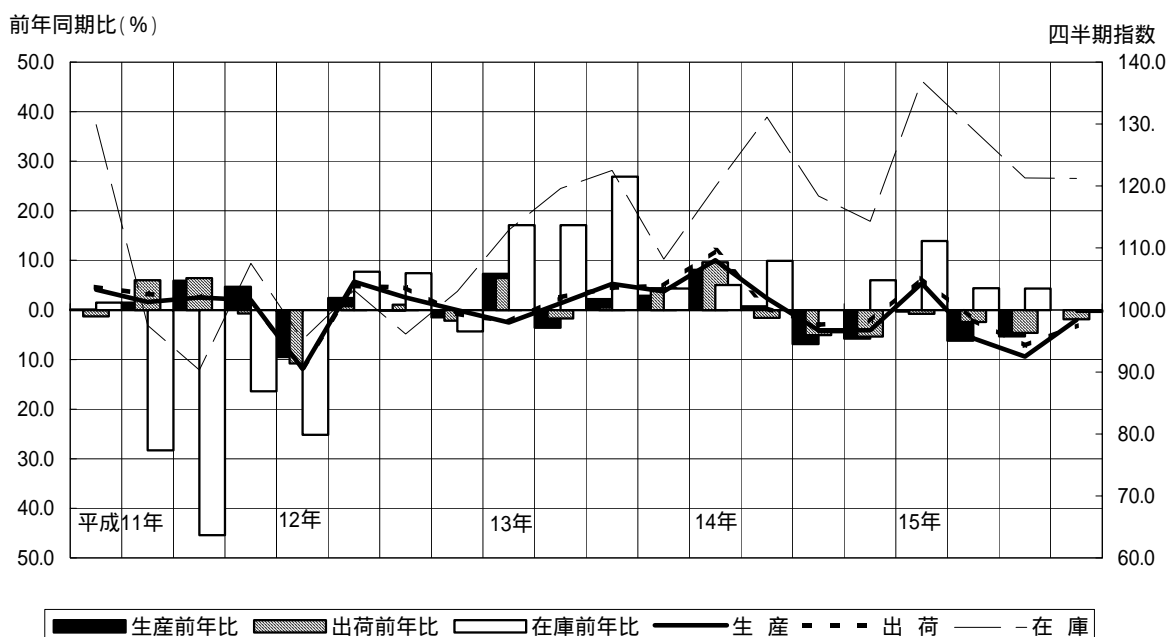
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	101.9	3.1	102.5	2.6	104.3	25.4
平成12年	100.0	1.9	100.0	2.4	100.0	4.1
平成13年	101.8	1.8	102.1	2.1	116.4	16.4
平成14年	100.3	1.5	100.8	1.3	120.9	3.9
平成15年	97.2	3.1	98.4	2.4	127.2	5.2

表37 食料品・たばこ工業四半期指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
生産	103.3	101.3	102.0	101.6	90.5	104.6	102.0	100.0	98.0	101.1	104.2	103.0	108.0	101.9	96.7	96.7	104.3	95.4	92.5	98.4
出荷	103.7	102.6	102.1	101.0	90.8	103.9	103.6	99.4	98.1	102.0	103.6	103.9	109.6	100.3	97.6	98.1	105.2	98.4	94.2	97.5
在庫	129.9	97.5	90.3	107.5	95.2	103.2	96.1	103.0	112.9	119.6	122.5	108.2	119.9	131.1	118.4	114.3	137.0	129.1	121.3	121.2
生産前年比	0.1	1.5	5.9	4.7	9.5	2.4	0.1	1.5	7.3	3.6	2.2	2.9	8.1	0.7	6.9	5.8	0.3	6.2	5.3	0.0
出荷前年比	1.3	6.0	6.4	0.7	10.8	0.7	1.1	2.2	6.4	1.7	0.5	4.4	9.6	1.6	5.1	5.4	0.8	2.4	4.6	1.9
在庫前年比	1.5	28.3	45.4	16.4	25.2	7.7	7.4	4.3	17.1	17.1	26.9	4.3	5.0	9.9	4.5	6.0	13.9	4.4	4.3	0.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図22 食料品・たばこ工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



タ ゴム、皮革製品工業

平成15年の生産指数(原指数年平均)は、106.1で前年比5.0%、出荷指数は128.4で同3.8%それぞれ上昇し、在庫指数は83.7で同19.2%低下した(表38)。

品目別でみると、生産は、ゴム製履物、ゴム製品(医療・運動・その他用)、自動車用タイヤなど4品目が上昇し、プラスチック製履物、工業用ゴム製品が低下した。

出荷は、自動車用タイヤ、革靴、ゴム製品(医療・運動・その他用)が上昇し、ゴム製履物、プラスチック製履物、工業用ゴム製品が低下した。

在庫は、工業用ゴム製品、革靴、自動車用タイヤなど4品目全てが低下した。

表38 ゴム、皮革製品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

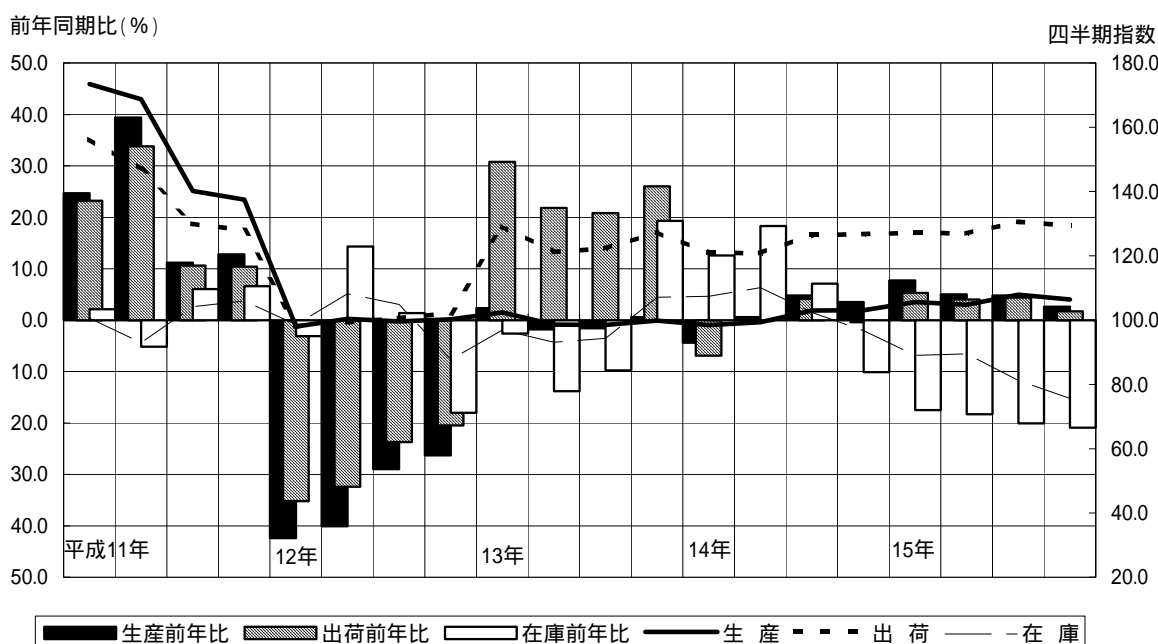
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	154.2	22.0	139.7	19.4	102.0	2.5
平成12年	100.0	35.1	100.0	28.4	100.0	2.0
平成13年	99.9	0.1	124.9	24.9	97.4	2.6
平成14年	101.0	1.1	123.7	1.0	103.6	6.4
平成15年	106.1	5.0	128.4	3.8	83.7	19.2

表39 ゴム、皮革製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	173.5	168.7	140.2	137.5	98.0	100.4	99.6	100.2	102.4	98.6	98.5	99.9	98.4	99.3	103.0	103.1	105.6	104.8	107.9	106.4
出荷	156.3	146.9	130.0	127.9	98.1	99.3	100.6	102.2	129.2	121.2	122.3	127.3	120.9	120.8	126.5	126.8	127.2	126.9	130.6	129.4
在庫	100.6	93.0	104.2	106.0	98.6	108.2	104.9	87.8	96.9	93.1	94.3	107.1	107.4	110.1	102.4	96.7	89.0	89.5	81.2	75.7
生産前年比	24.7	39.4	11.2	12.8	42.4	40.1	29.0	26.3	2.3	1.8	1.6	0.6	4.4	0.6	4.8	3.5	7.7	5.0	4.8	2.6
出荷前年比	23.2	33.8	10.6	10.4	35.2	32.4	23.7	20.5	30.8	21.8	20.8	26.0	6.9	0.2	4.1	0.4	5.3	4.0	4.4	1.7
在庫前年比	2.1	5.2	6.0	6.6	3.1	14.3	1.4	18.0	2.6	13.8	9.8	19.3	12.6	18.3	7.1	10.1	17.5	18.3	20.1	20.9

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図23 ゴム、皮革製品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## チ 木材・木製品工業

平成15年の生産指数（原指数年平均）は、68.0で前年比 2.2%低下し、出荷指数は69.2で同3.7%上昇し、在庫指数は105.9で同 1.7%低下した（表40）。

品目別でみると、生産は、パーティクルボードが上昇し、繊維板、一般製材が低下した。

出荷は、一般製材、パーティクルボードが上昇し、繊維板が低下した。

在庫は、パーティクルボード、繊維板が上昇し、一般製材が低下した。

表40 木材・木製品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

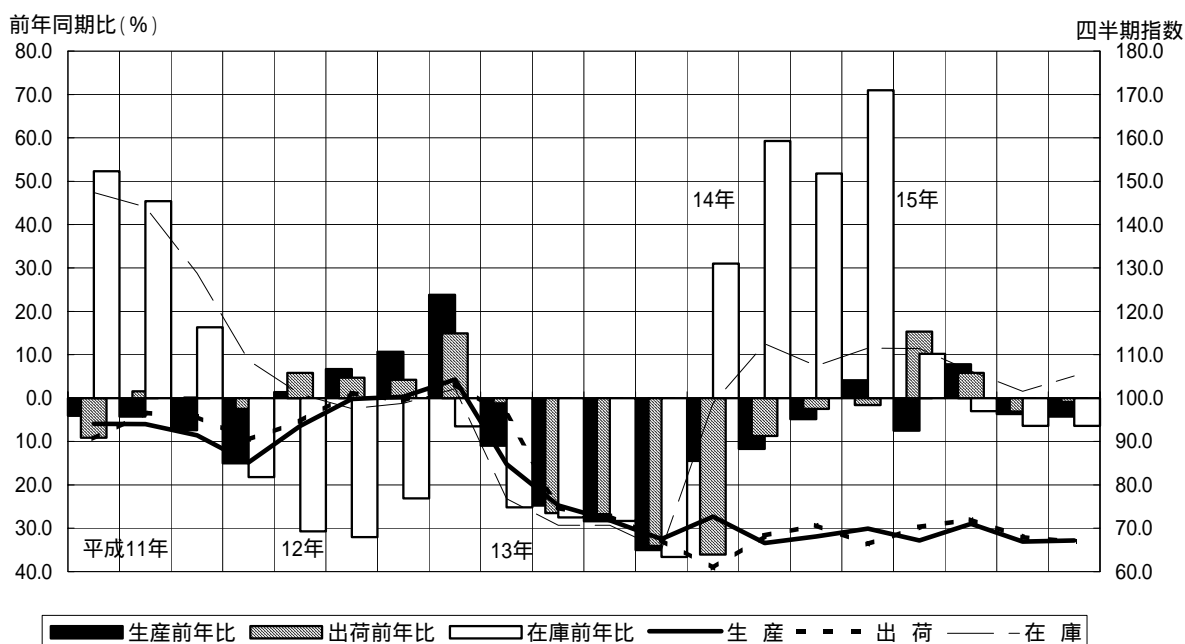
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	90.6	7.8	93.1	2.6	132.3	20.8
平成12年	100.0	10.4	100.0	7.4	100.0	24.4
平成13年	74.9	25.1	77.3	22.7	70.7	29.3
平成14年	69.5	7.2	66.7	13.7	107.7	52.3
平成15年	68.0	2.2	69.2	3.7	105.9	1.7

表41 木材・木製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
生産	94.1	94.0	91.4	85.2	93.6	99.8	100.3	104.3	84.8	75.3	71.8	67.5	72.7	66.6	68.1	69.9	67.2	71.0	66.9	67.2
出荷	90.6	96.6	95.7	90.4	94.6	101.2	99.4	103.2	95.9	74.7	72.8	67.4	60.8	68.3	70.7	66.3	70.3	72.0	68.0	66.9
在庫	147.4	144.1	128.8	108.7	100.9	97.6	98.8	102.2	76.8	70.7	70.7	65.1	98.8	112.5	107.4	111.5	111.4	106.2	101.6	105.1
生産前年比	4.1	4.3	7.4	15.0	1.4	6.7	10.7	23.8	11.0	24.8	28.4	35.0	14.5	11.7	4.9	4.1	7.5	7.8	3.7	4.3
出荷前年比	9.1	1.6	0.1	2.5	5.8	4.7	4.2	14.9	1.2	26.5	26.7	34.1	36.1	8.7	2.5	1.6	15.3	5.8	3.1	0.9
在庫前年比	52.3	45.4	16.3	18.2	30.7	32.0	23.1	6.5	25.2	27.5	28.3	36.6	31.0	59.3	51.8	71.0	10.2	3.0	6.4	6.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図24 木材・木製品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



ツ その他製品工業

平成15年の生産指数(原指数年平均)は、93.0で前年比 4.0%、出荷指数は92.8で同 6.1%、在庫指数は86.8で同 11.9%それぞれ低下した(表42)。

品目別でみると、生産は、印刷物、台所用金属製家具が上昇し、木製棚、玩具、その他の木製家具など4品目が低下した。

出荷は、印刷物、台所用金属製家具が上昇し、木製棚、玩具、その他の木製家具など4品目が低下した。

在庫は、玩具が上昇し、木製棚、台所用金属製家具が低下した。

表42 その他製品工業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

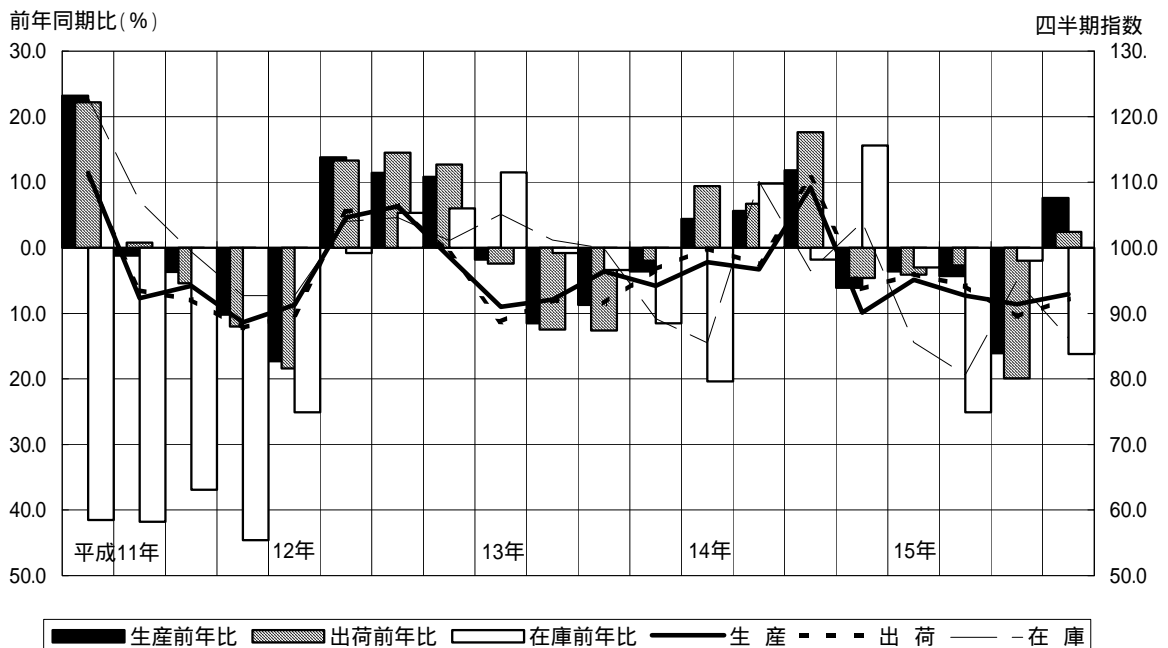
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	96.9	1.6	96.3	1.0	105.8	41.4
平成12年	100.0	3.2	100.0	3.8	100.0	5.5
平成13年	93.7	6.3	92.7	7.3	98.8	1.2
平成14年	96.9	3.4	98.8	6.6	98.5	0.3
平成15年	93.0	4.0	92.8	6.1	86.8	11.9

表43 その他製品工業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	111.4	92.3	94.2	88.6	91.3	104.6	106.3	98.6	91.0	92.1	96.4	94.2	97.8	96.7	109.2	90.1	95.1	92.7	91.4	92.9
出荷	110.7	93.5	92.1	87.8	89.8	105.5	106.5	99.1	88.7	92.0	91.5	96.7	99.9	97.5	110.7	93.7	96.0	94.2	89.5	92.2
在庫	122.9	107.1	99.4	92.7	92.7	104.0	104.6	101.1	105.1	101.2	99.9	89.2	85.5	110.1	96.5	103.9	85.6	80.6	95.0	86.2
生産前年比	23.2	1.2	3.7	10.2	17.3	13.8	11.4	10.8	1.8	11.5	8.7	3.6	4.4	5.6	11.8	6.1	3.6	4.3	16.1	7.6
出荷前年比	22.2	0.8	5.4	12.0	18.4	13.3	14.5	12.7	2.4	12.5	12.6	2.0	9.4	6.7	17.6	4.6	4.1	2.7	19.9	2.4
在庫前年比	41.5	41.8	36.9	44.6	25.1	0.8	5.3	6.0	11.5	0.8	3.4	11.5	20.4	9.8	1.8	15.6	3.0	25.1	2.0	16.2

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図25 その他製品工業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数) 平成12年=100.0





テ 鋳業

平成15年の生産指数(原指数年平均)は、111.5で前年比18.5%、出荷指数は110.8で同18.9%、在庫指数は31.4で同38.9%それぞれ上昇した(表44)。

品目別でみると、生産は、けい砂、天然ガス、原油が上昇し、石灰石が低下した。  
 出荷は、原油、天然ガス、けい砂が上昇し、石灰石が低下した。  
 在庫は、けい砂、石灰石が上昇し、原油が低下した。

表44 鋳業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

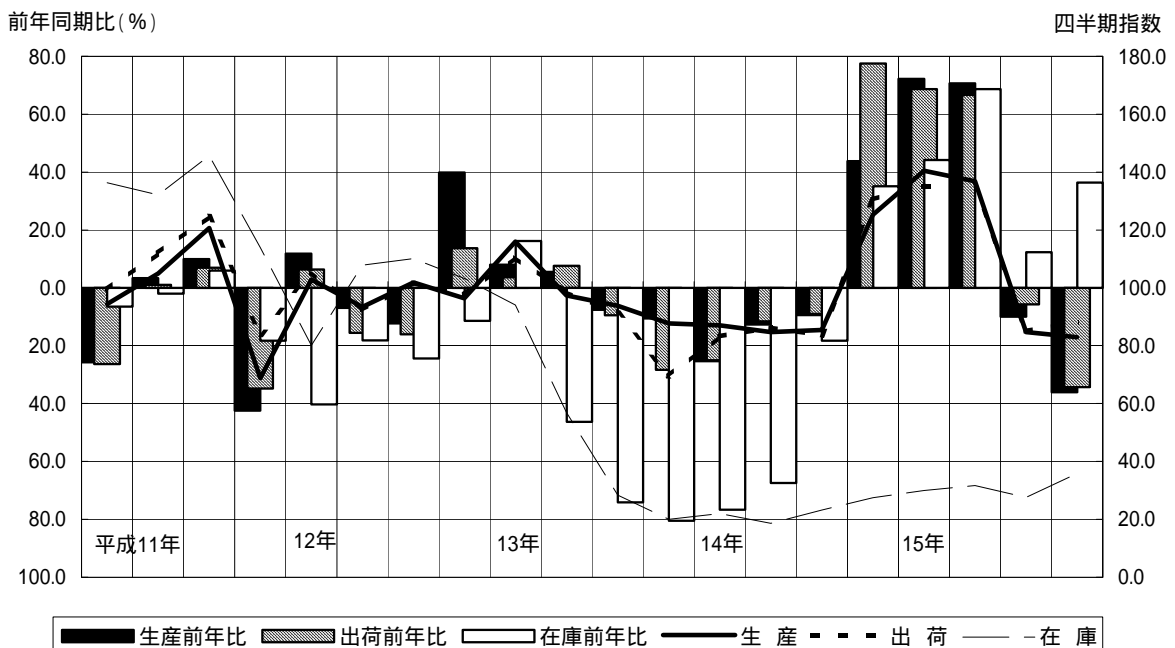
	生産		出荷		在庫	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	97.1	13.7	105.6	13.4	132.1	5.1
平成12年	100.0	3.0	100.0	5.3	100.0	24.3
平成13年	98.8	1.2	93.8	6.2	51.0	49.0
平成14年	94.1	4.8	93.2	0.6	22.6	55.7
平成15年	111.5	18.5	110.8	18.9	31.4	38.9

表45 鋳業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	94.4	104.9	120.7	68.8	102.8	93.4	101.8	96.4	116.0	97.4	93.8	87.7	87.0	84.7	85.4	125.2	140.5	136.8	84.7	82.9
出荷	99.5	112.0	124.7	83.8	105.3	92.3	101.7	97.7	110.5	98.5	91.3	69.5	83.2	86.2	83.6	130.5	135.2	135.4	85.0	88.1
在庫	136.3	132.1	145.7	113.9	80.1	107.8	110.1	103.2	94.1	56.9	28.4	20.0	22.0	18.6	23.2	27.5	30.0	31.7	27.6	35.8
生産前年比	25.7	3.3	9.9	42.5	11.8	6.9	12.3	39.9	8.0	5.5	7.6	10.6	25.3	12.7	9.4	43.8	72.2	70.6	10.0	36.1
出荷前年比	26.3	1.1	6.9	34.8	6.3	15.6	16.1	13.7	3.6	7.6	9.5	28.3	25.0	11.6	9.0	77.5	68.7	66.7	5.7	34.3
在庫前年比	6.5	2.0	5.9	18.3	40.3	18.2	24.4	11.4	16.2	46.3	74.1	80.5	76.7	67.4	18.3	35.1	44.2	68.7	12.3	36.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図26 鋳業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数) 平成12年=100.0



(3) 財別の動向

ア 概況

平成15年の財別生産指数（原指数年平均）は、最終需要財 90.6 で前年比 0.2%、生産財 99.6 で同 4.0%それぞれ上昇した。

出荷指数（原指数年平均）は、最終需要財 95.1 で前年比 3.4%、生産財 103.5 で同 6.8%それぞれ上昇した。

在庫指数（原指数年平均）は、最終需要財 103.5 で前年比 5.1%低下し、生産財 144.2 で同 14.8%上昇した（表46）。

最終需要財の季節調整済指数を四半期別にみると、生産指数及び出荷指数は年間を通して上昇と低下を繰り返し、横ばい傾向で推移した。在庫指数は、期、期で上昇し、期、期で低下した（表47）。

生産財（季節調整済指数）の生産指数及び出荷指数は、期で平成13年期以来5期ぶりにそれぞれ低下した後、期も前期比で低下したが、期、期はそれぞれ上昇した。在庫指数は、年間を通してわずかに上昇と低下を繰り返し、横ばい傾向で推移した（表48）。

表46 財別指数の推移 (平成12年=100.0 原指数)

		最終需要財														生産財	
		投資財								消費財							
		資本財				建設財				耐久消費財			非耐久消費財				
年平均	前年比	年平均	前年比	年平均	前年比	年平均	前年比	年平均	前年比	年平均	前年比	年平均	前年比	年平均	前年比	年平均	前年比
指数	(%)	指数	(%)	指数	(%)	指数	(%)	指数	(%)	指数	(%)	指数	(%)	指数	(%)	指数	(%)
生産	平成11年	99.6	1.6	98.9	7.4	97.2	12.0	101.0	1.0	99.9	6.9	96.7	23.4	101.2	2.2	98.6	1.9
	平成12年	100.0	0.4	100.0	1.1	100.0	2.9	100.0	1.0	100.0	0.1	100.0	3.5	100.0	1.2	100.0	1.4
	平成13年	94.7	5.3	93.9	6.2	98.1	1.9	88.3	11.7	95.1	4.9	86.3	13.7	98.3	1.7	93.0	7.0
	平成14年	90.4	4.5	88.2	6.0	98.3	0.2	75.0	15.0	91.5	3.8	84.4	2.2	94.2	4.2	95.8	3.0
	平成15年	90.6	0.2	89.8	1.8	98.6	0.3	78.5	4.7	91.0	0.5	83.2	1.4	93.9	0.3	99.6	4.0
出荷	平成11年	99.2	0.1	98.5	11.1	97.0	16.4	101.3	0.1	99.6	7.8	96.1	24.4	101.1	2.3	99.1	3.4
	平成12年	100.0	0.8	100.0	1.5	100.0	3.1	100.0	1.3	100.0	0.4	100.0	4.1	100.0	1.1	100.0	0.9
	平成13年	95.4	4.6	95.5	4.5	99.8	0.2	87.6	12.4	95.4	4.6	87.4	12.6	98.7	1.3	92.5	7.5
	平成14年	92.0	3.6	91.0	4.7	101.2	1.4	72.3	17.5	92.6	2.9	88.0	0.7	94.5	4.3	96.9	4.8
	平成15年	95.1	3.4	97.3	6.9	107.5	6.2	78.7	8.9	93.8	1.3	92.0	4.5	94.5	0.0	103.5	6.8
在庫	平成11年	95.4	13.8	98.3	2.2	73.6	10.5	112.9	1.4	94.0	18.7	79.5	4.1	103.6	24.5	101.4	6.8
	平成12年	100.0	4.8	100.0	1.8	100.0	35.9	100.0	11.4	100.0	6.4	100.0	25.8	100.0	3.5	100.0	1.4
	平成13年	108.6	8.6	109.6	9.6	149.3	49.3	86.1	13.9	108.1	8.1	100.7	0.7	113.0	13.0	125.3	25.3
	平成14年	109.1	0.4	108.4	1.1	138.4	7.3	90.5	5.1	109.5	1.3	99.2	1.5	116.2	2.8	125.6	0.2
	平成15年	103.5	5.1	93.4	13.8	103.7	25.1	87.2	3.6	108.4	1.0	87.3	12.0	122.4	5.3	144.2	14.8

表47 最終需要財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	100.7	101.2	100.0	97.2	94.1	99.6	103.4	101.1	100.1	93.8	92.4	92.8	90.8	91.2	89.6	90.5	93.1	89.2	89.5	91.4
出荷	98.8	100.4	100.5	96.8	92.0	99.6	103.9	103.1	101.2	96.3	92.6	92.2	91.7	91.2	91.7	93.8	95.4	94.3	96.1	95.1
在庫	105.6	91.6	90.6	96.3	92.1	100.9	100.2	104.6	104.1	110.6	112.1	107.2	112.7	115.8	107.6	100.9	106.9	109.7	103.1	95.0
生産前年比	3.2	4.7	0.5	0.7	4.7	1.5	3.6	4.1	4.3	5.9	10.7	8.1	10.0	2.7	2.7	2.5	1.6	1.9	0.5	1.8
出荷前年比	0.3	3.9	1.7	1.7	5.4	1.0	3.0	6.3	8.1	3.8	10.8	10.2	10.0	5.2	0.5	1.9	3.5	3.7	4.3	1.8
在庫前年比	4.3	19.7	22.6	6.7	11.5	11.5	11.4	9.0	10.7	10.2	12.0	2.2	7.9	5.0	4.0	6.1	5.3	3.2	3.7	8.7

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図27 最終需要財四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0

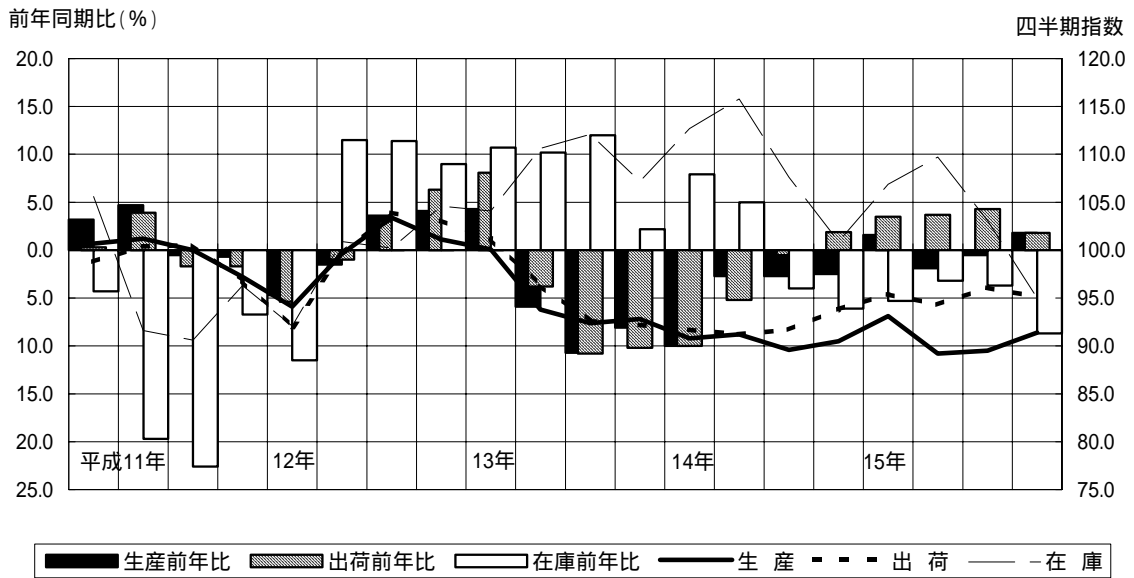
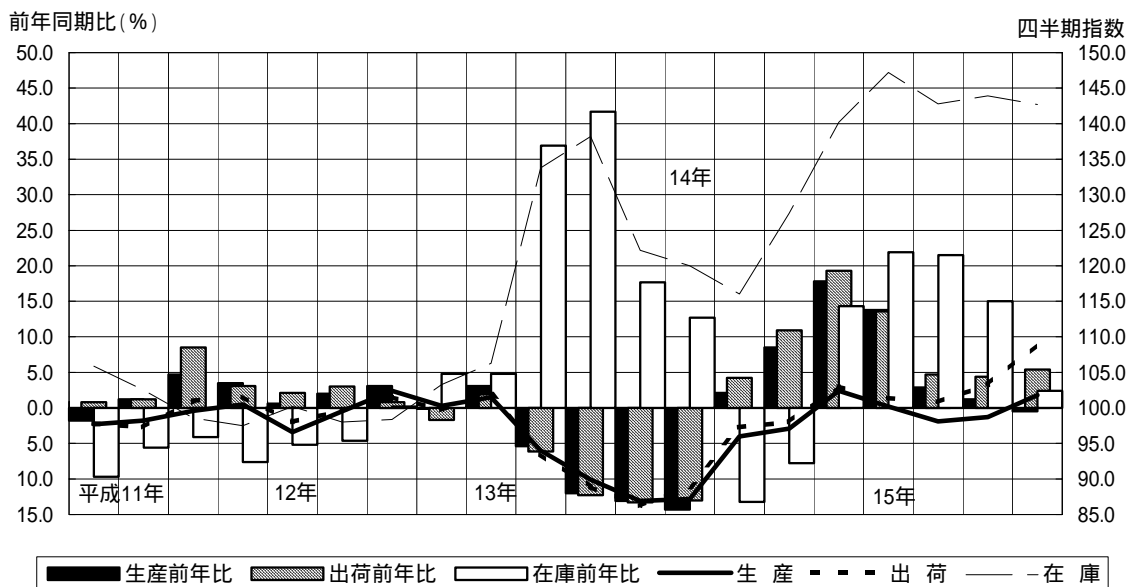


表48 生産財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	97.7	98.2	99.6	100.5	96.6	99.5	102.4	100.3	101.5	94.0	89.9	86.9	87.2	96.0	97.1	102.4	100.2	98.1	98.7	101.8
出荷	97.8	97.3	101.0	101.6	98.0	99.6	101.5	99.7	101.9	93.5	88.9	86.2	88.9	97.3	98.0	103.0	101.4	100.8	103.3	109.0
在庫	105.9	102.5	98.6	97.5	100.2	98.0	98.4	103.3	106.3	133.8	138.2	122.2	120.0	116.0	127.4	140.2	147.2	142.8	143.9	142.7
生産前年比	1.8	1.2	4.7	3.5	0.6	2.0	3.1	0.1	3.1	5.4	12.0	13.1	14.3	2.1	8.5	17.8	13.8	2.9	1.2	0.5
出荷前年比	0.8	1.2	8.5	3.1	2.1	3.0	0.8	1.7	1.9	6.1	12.3	13.3	13.0	4.2	10.9	19.3	13.6	4.7	4.4	5.4
在庫前年比	9.7	5.6	4.1	7.6	5.2	4.6	0.2	4.8	4.8	36.9	41.7	17.7	12.7	13.2	7.8	14.3	21.9	21.5	15.0	2.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図28 生産財四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## イ 投資財

平成15年の投資財の生産指数(原指数年平均)は、資本財が98.6で前年比0.3%、建設財が78.5で同4.7%それぞれ上昇し、全体として89.8となり同1.8%の上昇となった。

出荷指数(原指数年平均)は、資本財が107.5で前年比6.2%、建設財が78.7で同8.9%それぞれ上昇し、全体として97.3となり同6.9%の上昇となった。

在庫指数(原指数年平均)は、資本財が103.7で前年比25.1%、建設財が87.2で同3.6%それぞれ低下し、全体として93.4となり同13.8%の低下となった(表46)。

投資財の季節調整済指数を四半期別にみると、生産指数は、1期、2期で低下し、3期、4期で上昇した。出荷指数は、1期で低下した後、上昇傾向で推移した。在庫指数は、1期で上昇した後、低下傾向で推移した(表49)。

表49 投資財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	102.4	102.0	95.1	97.5	94.4	96.5	103.2	103.7	104.9	93.3	88.4	88.5	84.6	88.6	89.5	90.3	87.0	86.9	92.9	93.1
出荷	100.5	99.9	95.8	98.1	92.8	96.5	102.5	107.5	106.9	97.2	89.5	88.0	85.9	88.2	94.0	96.1	92.4	95.2	101.9	100.3
在庫	109.0	96.3	94.8	94.6	90.8	100.3	103.4	103.5	105.1	108.9	110.7	112.9	120.1	114.1	103.2	97.1	103.8	92.7	93.2	84.8
生産前年比	5.7	5.1	13.9	4.8	5.6	4.9	8.4	7.5	8.5	3.6	14.8	14.1	19.9	4.9	1.7	2.2	3.3	2.8	3.6	3.3
出荷前年比	10.7	11.1	17.9	3.5	6.1	3.4	6.1	10.1	13.5	0.0	12.7	17.4	19.7	9.1	5.2	9.3	6.7	7.3	8.9	4.8
在庫前年比	2.4	7.0	1.3	3.0	15.5	5.1	9.1	9.9	13.8	8.0	7.2	10.0	13.5	4.8	6.4	14.3	11.7	18.7	10.3	14.4

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

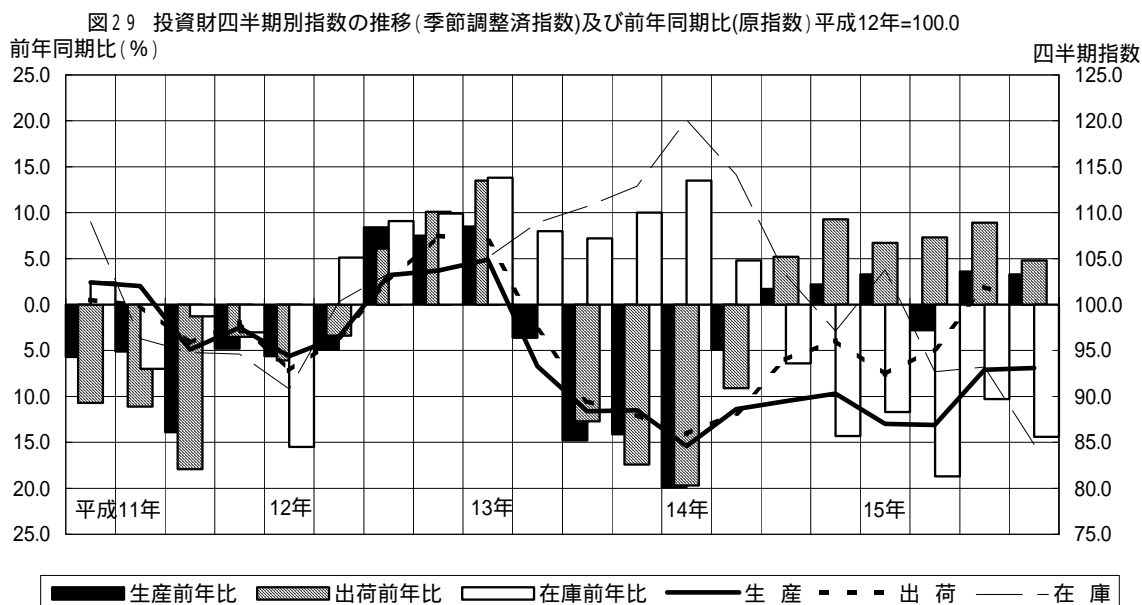


表50 資本財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	101.7	102.1	90.0	94.8	92.8	94.5	104.3	106.9	109.1	94.5	93.7	94.2	91.9	98.7	100.3	103.3	94.9	91.9	102.8	105.3
出荷	100.3	98.3	93.1	94.8	91.1	94.6	104.6	110.9	111.1	99.7	96.1	91.8	94.6	96.5	105.5	109.8	100.5	103.4	113.6	113.7
在庫	82.6	72.4	69.7	71.3	70.0	105.3	102.3	118.2	122.5	145.7	154.9	169.5	184.3	148.0	123.8	101.8	120.9	96.4	101.3	98.4
生産前年比	11.1	6.8	24.2	3.6	5.7	7.4	14.6	12.6	14.1	0.1	10.7	10.8	16.6	4.6	7.8	10.0	2.9	8.7	2.9	3.3
出荷前年比	15.6	15.8	26.6	4.5	7.2	4.3	10.0	16.2	20.0	4.8	8.2	16.1	15.3	3.2	10.2	19.8	5.6	5.5	10.1	3.8
在庫前年比	11.9	20.6	3.8	3.5	15.2	48.3	48.0	68.4	69.5	38.2	52.0	45.5	49.1	1.4	19.7	40.3	29.7	35.7	18.5	10.3

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図30 資本財四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0

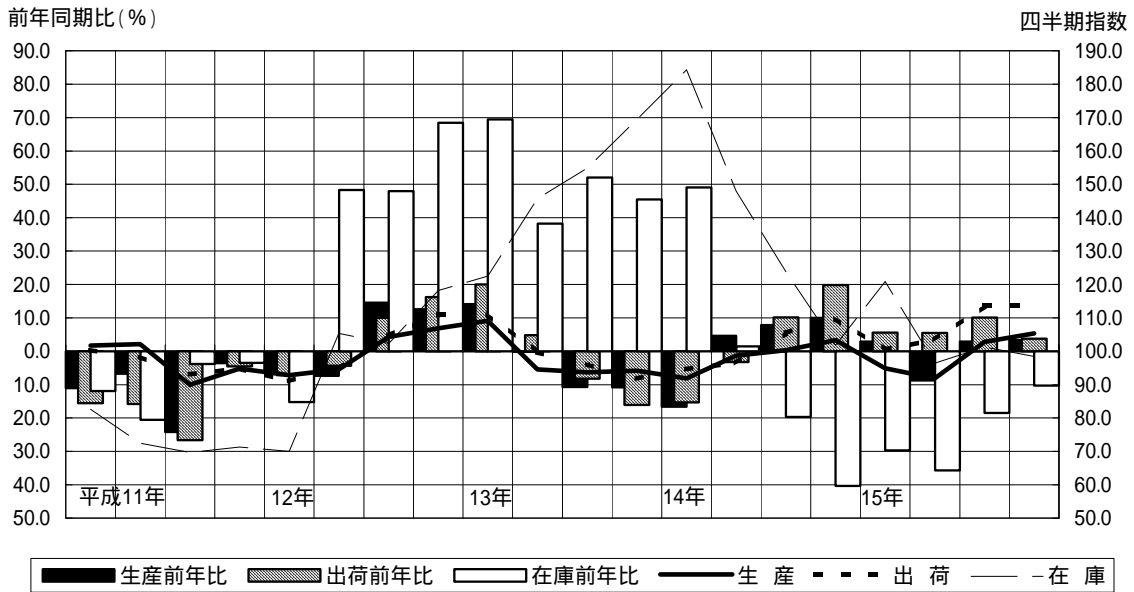
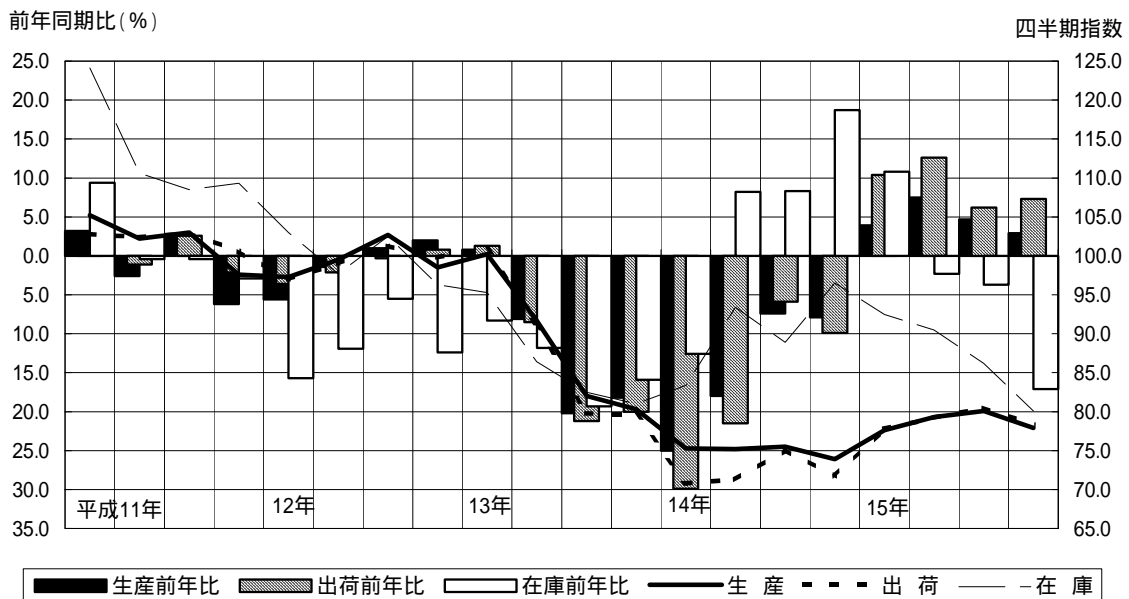


表51 建設財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	105.2	102.2	103.0	97.6	97.3	99.5	102.7	98.5	100.2	91.7	82.0	80.3	75.3	75.2	75.5	73.9	77.6	79.3	80.1	77.9
出荷	102.8	102.4	102.9	100.6	97.0	99.0	101.3	99.8	100.8	91.1	79.8	79.6	70.8	71.3	75.1	71.7	77.8	79.2	80.5	78.3
在庫	124.1	110.6	108.5	109.3	103.0	97.7	102.5	96.3	95.3	86.4	82.5	81.0	83.4	93.4	88.9	96.5	92.5	90.5	86.2	80.1
生産前年比	3.2	2.6	2.5	6.2	5.6	1.4	1.0	2.0	0.8	8.1	20.2	18.2	25.0	18.0	7.4	7.9	3.9	7.5	4.7	2.9
出荷前年比	0.2	1.1	2.6	2.1	3.6	2.1	0.3	0.8	1.3	8.5	21.2	20.0	29.9	21.5	5.9	9.9	10.4	12.6	6.2	7.3
在庫前年比	9.4	0.4	0.4	2.9	15.7	11.9	5.5	12.4	8.3	11.8	19.3	15.9	12.6	8.2	8.3	18.7	10.8	2.3	3.7	17.1

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図31 建設財四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## ウ 消費財

平成15年の消費財の生産指数（原指数年平均）は、耐久消費財が83.2で前年比1.4%、非耐久消費財が93.9で同0.3%それぞれ低下し、全体として91.0となり同0.5%の低下となった。

出荷指数（原指数年平均）は、耐久消費財が92.0で前年比4.5%上昇し、非耐久消費財が94.5で同0.0%の横ばい、全体として93.8となり同1.3%の上昇となった。

在庫指数（原指数年平均）は、耐久消費財が87.3で前年比12.0%低下し、非耐久消費財が122.4で同5.3%上昇し、全体として108.4となり同1.0%の低下となった（表46）。

消費財の季節調整済指数を四半期別にみると、生産指数及び出荷指数は、1期で上昇した後、2期、3期で続けて低下し、4期で再び上昇した。在庫指数は1期、2期で上昇し、3期、4期で低下した（表52）。

表52 消費財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	99.6	101.7	101.6	97.1	93.6	102.0	102.7	99.7	97.0	95.0	93.6	94.7	94.1	93.4	88.9	90.3	94.9	91.2	87.5	91.4
出荷	98.5	101.5	102.9	95.2	92.3	101.9	104.1	100.1	98.0	96.3	93.6	94.2	96.0	93.2	89.7	92.4	97.1	94.3	91.8	92.8
在庫	103.6	89.4	88.5	96.7	93.1	101.4	98.7	104.5	104.3	111.7	112.9	103.5	109.8	117.0	109.9	101.6	108.5	118.0	107.4	99.4
生産前年比	9.5	10.0	7.4	1.5	4.3	0.2	1.3	2.4	2.1	6.9	8.7	5.0	3.8	1.7	4.6	4.7	0.8	1.5	2.5	1.2
出荷前年比	9.3	13.9	9.6	0.6	4.8	0.2	1.3	4.2	4.3	5.6	9.8	5.8	2.9	3.2	3.6	2.0	1.5	1.9	1.5	0.1
在庫前年比	7.6	25.3	30.2	8.3	9.5	15.1	12.6	8.5	9.3	11.1	14.3	1.4	5.1	5.3	2.8	1.8	1.9	4.1	0.7	6.1

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

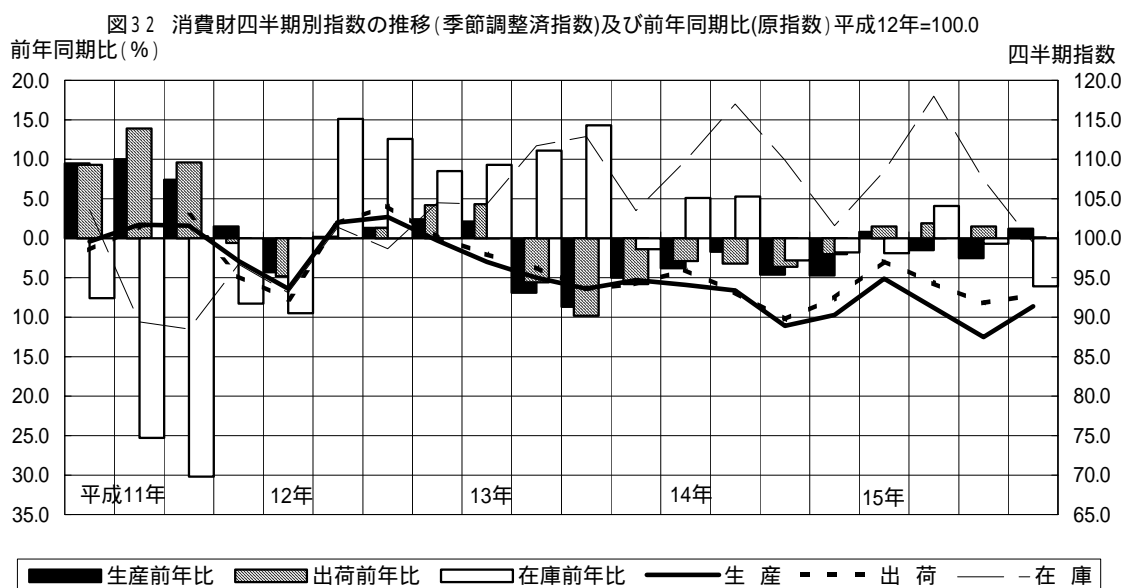


表53 耐久消費財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	91.8	104.8	101.2	87.4	95.2	101.9	105.7	94.1	91.1	82.3	82.5	90.2	87.8	86.0	77.2	88.7	88.4	87.7	79.2	79.9
出荷	88.3	101.7	106.2	85.9	90.7	100.3	107.1	98.3	93.6	84.0	83.9	89.5	91.6	86.2	80.2	96.2	95.1	93.3	92.7	88.9
在庫	76.6	74.2	84.4	82.9	89.3	98.3	102.2	108.2	95.4	103.6	103.9	99.9	104.4	102.1	101.9	89.4	82.8	102.5	90.8	75.7
生産前年比	34.0	54.2	24.6	5.5	4.7	2.8	5.1	7.3	7.0	19.2	21.9	4.3	4.6	4.2	5.9	2.0	1.3	2.6	0.8	7.7
出荷前年比	28.3	53.9	30.1	4.7	4.3	1.5	1.6	13.5	0.6	16.3	21.8	9.2	3.0	2.6	4.2	7.0	5.1	7.5	12.0	5.0
在庫前年比	16.6	19.7	15.1	8.7	16.8	34.0	23.3	29.9	4.5	6.0	2.6	7.7	8.4	1.5	0.9	10.7	23.1	3.9	9.2	18.1

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図33 耐久消費財四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0

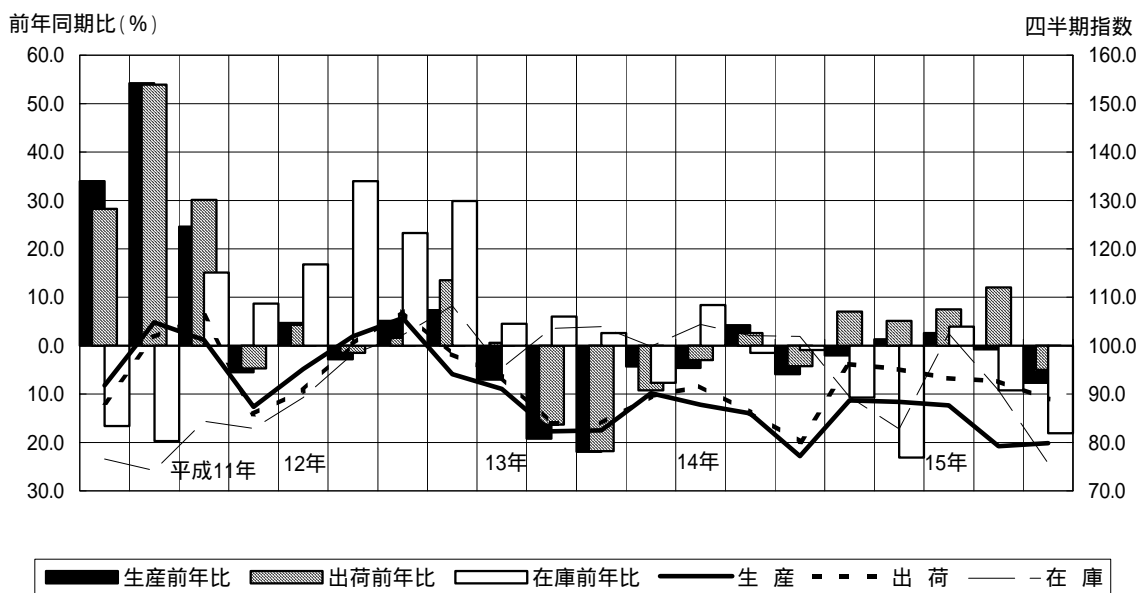
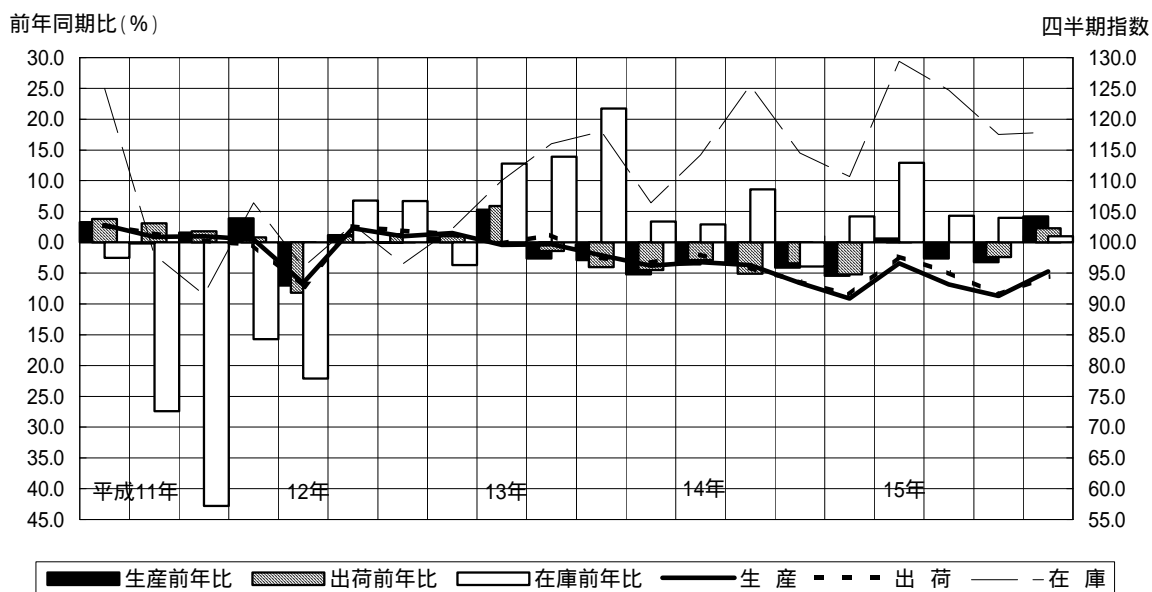


表54 非耐久消費財四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	102.8	100.9	101.0	100.5	93.4	102.3	101.0	101.5	99.6	99.7	97.9	96.2	96.8	96.3	93.4	90.9	96.6	93.2	91.3	95.3
出荷	102.7	101.4	100.3	99.6	92.8	102.6	101.9	101.3	99.8	101.2	97.5	96.7	98.0	95.9	93.6	91.5	97.7	95.1	91.5	94.5
在庫	125.0	98.0	91.5	106.4	96.0	102.9	96.5	102.2	110.0	116.0	118.0	106.4	114.2	125.5	114.5	110.7	129.4	124.7	117.5	117.9
生産前年比	3.3	0.2	1.6	3.9	7.0	1.2	0.1	0.8	5.3	2.6	2.9	5.2	3.6	3.4	4.1	5.4	0.6	2.6	3.2	4.2
出荷前年比	3.8	3.1	1.8	0.8	8.2	1.0	1.3	1.0	5.9	1.4	4.0	4.5	2.9	5.1	3.4	5.2	0.1	0.0	2.4	2.3
在庫前年比	2.5	27.4	42.8	15.7	22.1	6.8	6.7	3.7	12.8	13.9	21.7	3.4	2.9	8.6	3.9	4.2	12.9	4.3	4.0	1.0

生産～在庫指数は季節調整済指数、生産～在庫前年比は原指数の比

図34 非耐久消費財四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0



## 2 電力・ガス事業の推移

平成15年の生産指数(原指数年平均)は、55.9で前年比 42.0%低下した(表55)。  
品目別にみると、電力は前年比 42.1%低下し、ガスは同0.5%上昇した。

季節調整済指数を四半期別にみると、 期、 期で大きく低下した後、 期で上昇し、  
期で再び低下した。(表56)。

表55 電力・ガス事業年別指数の推移 (平成12年=100.0原指数)

	生産		電力		ガス	
	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)	年平均指数	前年比(%)
平成11年	104.2	10.3	104.2	10.3	97.7	2.0
平成12年	100.0	4.0	100.0	4.0	100.0	2.4
平成13年	96.0	4.0	96.0	4.0	100.5	0.5
平成14年	96.4	0.4	96.3	0.3	99.1	1.4
平成15年	55.9	42.0	55.8	42.1	99.6	0.5

表56 電力・ガス事業四半期別指数の推移及び前年同期比

	平成11年				平成12年				平成13年				平成14年				平成15年			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
生産	110.4	98.1	106.5	101.3	101.3	105.2	85.8	109.5	92.9	100.3	96.0	95.4	104.6	100.6	97.8	82.1	65.3	42.2	58.5	57.5
生産前年比	20.5	13.2	8.4	0.0	7.7	8.0	19.6	6.7	8.6	3.9	11.4	13.2	12.5	0.9	1.7	14.6	38.2	59.6	39.5	27.4

生産指数は季節調整済指数、生産前年比は原指数の比

図35 電力・ガス事業四半期別指数の推移(季節調整済指数)及び前年同期比(原指数)平成12年=100.0

